

| | |
|------------------|---|
| Title | 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫蔵〔南北朝〕写老子道德經：本文並びに訓読文・附本文校異記(一) |
| Sub Title | Nanbokucho manuscript copy Lao Tzu-Tao Te Ching in the Shido Bunko Institute: transcription and the Japanese rendering append text collation (1) |
| Author | 山城, 喜憲(Yamashiro, Yoshiharu) |
| Publisher | 慶應義塾大学附属研究所斯道文庫 |
| Publication year | 2005 |
| Jtitle | 斯道文庫論集 (Bulletin of the Shidô Bunko Institute). No.40 (2005.) ,p.1- 68 |
| JaLC DOI | |
| Abstract | |
| Notes | |
| Genre | Departmental Bulletin Paper |
| URL | https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00106199-20050000-0001 |

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学
附属研究所

斯道文庫蔵〔南北朝〕写 老子道德經

本文並びに訓読文 附本文校異記 (一)

山城 喜 憲

凡 例

一、本翻印並びに訓読文の底本は斯道文庫に所蔵する次の古鈔本である。早く『弘文莊待買古書目』第十二號(昭和一三・二九三八・二二)に掲載され、『斯道文庫』創立十周年近蒐善本年記念年記(昭和一三・二九三〇・二二)及び『慶應義塾大学附属研究所斯道文庫貴重書蒐選図録』(平成九・二九九七・二二)にも紹介されており、また拙稿「河上公章句『老子道德經』古活字版本文系統の考索(上)」(『斯道文庫論集』第三十四輯 平成二二・二〇〇〇・二二)の緒言で書誌事項について言及している。繙読の便宜の為、拙稿より些少の修正を加えて転載しておく。

老子道德經

二卷 漢河上公章句
〔南北朝〕写 康應元年(二三九〇) 施入識語本
大二冊(函架番号 〇九一―ト八八一―)

後補黄檗色艶出し古表紙(二三・四×一八・三糎)、左上に「道德經乾(坤)」と墨書。料紙、斐楮交漉紙。裏打ち補修が施さる。

首に「老子經序」を冠し、卷下尾題後隔一行に「老子道德經序」(格低六) 真人葛玄」と題する序文を附す。

上巻巻頭は「老子經序」末に接して「老子道經」、次行低一格に「河上公章句第一」、第三行低一格「體道第一」の章名を題して本文に入る。卷下首内題は「老子經下／河上公章句第三」、尾題は「老子經道德上」、「河上公老子德

「經下」とある。上下二巻に分かつが、十七章及び六十章首前の一行に、それぞれ「河上公章句第二(四)」の小題がある。

無辺無形、字面高さ約一八・九糎、每半葉六行行十一字、注小字双行行十一字。柱に「▲老子一(二)之(丁付)(丁付下に墨縦線)」と、版本版心の様式で題記さる。「老子經序」には朱句点、朱引、墨訓点、人名符を、經注本文

には墨筆の句点、返点、送仮名、振仮名、連続符、音訓合符、声点を付し、行間に反切或いは直音注、希に王弼注、明皇注の抄録、「イ」との校異等の書入が見られる。

次の本奥書及び識語がある。即ち上巻尾題後に、

康應二年正月十九日施入之聖山

不可出寺中

本云
丁酉之歲仲夏十八日一見了

了弑判

また尾の葛玄序末隔一行に、

本云
一見了 了弑判

有言^{ルハ}之^ノ過^リ當^リ者^ノ君^ノ子^ノ之^ノ所^ニ宜^ク潛^ル其^ノ心^ヲ

焉也此^レ經^ニ曰^ク絶^レ聖^ヲ棄^レ智^ヲ又^レ絶^レ仁^ヲ棄^レ義^ヲ

者是^レ其^ノ言^ヲ之^ノ過^リ當^リ也楊^子曰^ク及^テ三^ノ搢^ヲ提^レ仁^ヲ
義^ヲ絶^ス滅^ス禮^ヲ樂^ヲ吾^レ無^ク取^ル焉耳者是^レ亦
雄^ノ言^ノ之^ノ過^リ當^リ也蓋^シ以^テ意^ヲ逆^テ志^ヲ乎學者
若^シ欲^ク觀^ル二^ノ老^ノ之^ノ過^リ當^リ之^ノ所^ニ者^ヲ試^ム取^ル雲^ノ漢^ノ
之^ノ詩^ヲ而^シ熟^ク參^ル矣^ト云

不可出寺中

康應二年正月十九日 施入聖山之

康應二年の施入識語の筆跡は、本文及び本奥書よりやや後の、別筆と見られる。

本文は、他の古鈔本と比べ、建安虞氏家塾刊本に近く、古鈔本の中ではテキスト上やや特異な性格を持ち、当時伝存した宋刊本若しくは元刊本の本文が影響していると考えられる。

末に付された葛玄撰と題する「老子道德經序」は他の古鈔本には見えないもので、敦煌出土の五千字本系道德經に冠せられた、『老子道德經序訣』全五段中の第二段の内容に相当し、また、宋版系本の「老子道德經序」の後半部分と同類であるが、互いに措辞文句に異同が見られる。

「雲ノ關」(白方)、「大ノ招」(朱鐘形)の古印、「月明ノ

註」(朱方)の印記がある。

一、上段に本文、下段に訓読文を配し、各経文句、注文句頭に於いて、上下対照させた。従って、底本書写面の体裁は全く失われている。近い将来、原本の影印を以て此の不備を補いたいと考えている。

一、上段本文では、句読点は長文を列ねる「老子経序」を除いてすべて省き、下段訓読文に反影させた。

一、各章首等に適宜原本の張次數、表裏、行次數を標している。

一、底本の本文は経文を適宜区切ってその下に注文を小字双行で挿入配置しているが、翻印に当って、注文は改行、一格を低し、大字単行に改めた。訓読文も同様とした。

一、底本の異体字は可能な限りそのままに、JIS第一・二水準、ユニコード外の文字は作字して、本文中に翻字した。作字した異体字は、訓読文では原則として現行通用字体に改められている。

一、底本の見消ちを付された字句は、そのままに翻字し、校異記にその旨注記した。

一、行間の音義注は原形の通り、訓読文の当該字に傍記した。その他の書入れ注記も該当位置行間に翻記している。

一、誤写に因る譌字はそのままに翻字し、校異でその様態を注記し、訓読文の当該字下一一内に正字を示す。

一、書写者自らによる誤写字の訂正は、その訂正するところに従って翻字する。

一、四声点の圈発は、当該字のしたにへで囲み、例えば「復へ去」の様に翻記した。

一、片仮名の訓の異体字は通用の字体に改めた。

一、二訓以上の附訓が有る場合は、右傍の一訓を主訓とし、左傍訓は原状のままに左傍に記す。

一、「老子経序」及び巻上巻頭題書に施されている朱引き、朱句点、人名符は省略した。

一、句読点は、字の右下側の「。」を「。」、中央の「。」を「・」を以て表記した。

一、漢音合・訓合・音訓・訓訓の符合は原本のままに従う。

一、不読の置き字は「()」で囲む。

一、疊字は下に()で囲み原字を示す。

一、再読の字は例えば「當二——「當」シ」の様に表記した。

一、虫損等で文字が欠損しているところは□で示し、墨痕等から推定できる場合は推定した文字を□の中に記す。

一、推定で補った場合は全て（ ）内に記す。

一、仮名訓の「云」等補助符合は小字にして表記した。

一、「為」の訓のうち、「ス」「ナス」を識別することは、特に

「附訓がない場合困難である。右下傍に「ス」と明記されてい
ればすべて送り仮名と看做して「ナス」と訓み「為ス」と翻
記した。附訓が無ければ適宜「為」「為(ス)」と表記して一
応「ス」「ナス」と訓み分けている。しかし、弁別しかねる
ところが殆どで失考も多いと思われる。後攻を期したい。

一、各章末に校異記を配した。条頭の数字は、本文字句右傍の
数字と対応する。

一、校異の対校諸本及びその略称は次の通りである。

活 I (慶長) 刊古活字版

活 II (慶長) 刊古活字版 異植字版

陽 I 陽明文庫蔵 (室町末近世初) 写本二冊

書陵 宮内庁書陵部蔵 (室町) 写至徳三年 (一三八六) 識語

本二冊

龍門 阪本龍門文庫蔵 (室町中期) 写本存首一卷一冊

無窮 無窮会図書館蔵 (井上頼因旧蔵) (近世初) 伝写天文

五年 (一五三六) 書写清家本一冊

足利 足利学校遺蹟図書館蔵 (室町) 写本二冊

杏 II 杏雨書屋蔵 (内藤湖南旧蔵) (室町中期) 写本存巻下

徳経一冊

筑波 筑波大学附属図書館蔵天文二十一年 (二五五二) 写本

一冊

弘文 戸川濱男旧蔵 (室町末) 写元和五年 (二六一九) 付与

識語本合一冊

斯 II 斯道文庫蔵 (伊藤有不為齋・戸川濱男旧蔵) 天文十五

年 (一五四六) 写本二冊

梅沢 梅沢記念館蔵 (戸川濱男旧蔵) 應安六年 (一三七三)

写本二冊

慶 I 慶應義塾図書館蔵 (戸川濱男旧蔵) 天正六年 (二五七

八) 足利学校南春写本一冊

大東 大東文化大学図書館蔵天正六年 (二五七八) 足利学校

真瑞写本一冊 宝素堂旧蔵経籍訪古志著録本

慶 II 慶應義塾図書館蔵大永五年 (二五二五) 写本存巻上道

経一冊

武内 瀧川君山・武内義雄旧蔵 (室町) 写本一冊

東大 東京大学総合図書館蔵 (南葵文庫旧蔵) (室町末) 写

本一冊

東洋 東洋文庫藏〔室町末〕写本一冊

聖語 正倉院聖語藏〔鎌倉〕写本存卷下一軸

東急 大東急記念文庫藏〔室町〕写本二冊

杏Ⅰ 杏雨書屋藏〔内藤湖南旧藏〕〔鎌倉末南北朝初〕写存

卷上道経零卷一軸

六地 六地藏寺藏〔室町末〕写单経本一冊

陽Ⅱ 陽明文庫藏〔近世初〕写单経本一冊

仁和 仁和寺藏〔室町末近世初〕写本一冊

宋版 北京図書館藏〔常熟瞿氏鐵琴銅劍樓旧藏〕〔南宋〕建

安虞氏家塾刊本

世徳〔明嘉靖十二年（一五三二）〕世徳堂顧春刊本

道蔵 明正統刊道蔵本〔道徳眞經註四卷〕道蔵洞神部玉訣類

知字号

敦Ⅰ 大英図書館藏〔唐〕写零卷〔存第三章〕二十章、首尾

欠）敦煌出土スライン蒐集本（S四七七）

敦Ⅱ 大英図書館藏〔唐〕写零卷〔存第三十九章〕八十一章、

首欠）敦煌出土スライン蒐集本（S三九二二）

敦Ⅲ A大英図書館藏〔唐〕写零卷〔存第三十八章、後半欠）

敦煌出土スライン蒐集本（S四六八一）

B国立パリ図書館藏〔唐〕写零卷〔存第三十八章〕七十

七章首尾欠）敦煌出土ペリオ蒐集本（P二二六三九）

治要 羣書治要卷卅四所収本 宮内庁書陵部藏〔鎌倉〕写金

沢文庫本

天理 天理図書館藏『老子道德経河上公解〔抄〕』寛永四

（二六一八）写本存道経三十七章掲出経注文

一、各本の書誌事項等詳細については拙稿「河上公章句『老子

道德経』古活字版本文系統の考索（上）」緒言の「対校諸本

略解題」を参照されたい。

一、校異記中、同類本の略称を一一で括って表記した。

一、校異で諸本と言うのは此の翻字底本を除く対校全ての本を指す。

1オ1 老子經序

老子者・蓋上世之真人也。其欲見於世・則解形還神・入婦人胞中而更生・示有所始。當周之時因母氏・楚・苦縣・厲鄉・曲仁里・李氏女・任之。八十一歳・應天大陽曆數・而生・く有老微。人皆見其老・不見其少・欲謂之嬰兒年已八十矣。欲謂之老父・又且新生。故謂之老子・名重耳・字伯陽。任周為守藏室史。

老子經序

老子ハ〔者〕蓋シ上世ノ〔之〕真人ナラシ〔也〕。其〔レ〕〔於〕世ニ見レント欲シテ・〔則〕形ヲ解キ神ヲ還シテ・婦人ノ胞中ニ入〔リ〕テ〔而〕更ニ生レタリ・始マル所有〔ル〕コトヲ示ス。周ノ〔之〕時ニ當リテ母氏ノ・楚ノ・苦縣ノ・厲郷ノ・曲仁里ノ・李氏ノ女ニ因〔リ〕テ・任マル〔之〕。八十一歳ニシテ・天ノ大陽ノ曆數ニ應シテ〔而〕生レタリ・々〔生〕〔ルル〕トキニ老ノ微有リ。人皆其ノ老〔イ〕タルヲ見テ・其ノ少キヲ見不〔レ〕之ヲ嬰兒ト謂ハント欲スレハ年已ニ八十ナリ〔矣〕。之ヲ老父ト謂〔ハ〕ント欲〔スレ〕ハ・又且新ニ生レタリ。故ニ之ヲ老子ト謂フ・名ハ重耳・字ハ伯陽。周二任ヘテ守藏室ノ史為リ。

1ウ6 孔子適周問禮於老子・老子曰・子之所言・其人骨已朽矣。獨其言在耳。且君子得其人・則嘉祥・不得其人・則蓬累而行・吾聞之・良賈・深藏若虛。君子威德容貌・若不足。去子之驕氣與多欲・態色與淫志。是皆無益於子之身也。吾所以告子・若是而已。孔子去・謂諸弟子曰・鳥・吾知其能飛。魚・吾知其能游。獸・吾知其能走。く者・可為羅。游

孔子周二適イテ禮ヲ〔於〕老子ニ問〔フ〕。老子ノ曰〔ク〕。子カ〔之〕言〔フ〕所ハ・其ノ人骨已ニ朽チタリ〔矣〕。獨其ノ言在〔ル〕耳ナリ。且君子ハ其ノ人ヲ得ルトキハ・〔則〕嘉祥ス・其ノ人ヲ得不〔ル〕トキハ・〔則〕蓬累シテ〔而〕行ク。吾聞ク〔之〕。良賈ハ・深ク藏シテ虚キカ若〔シ〕。君子ハ盛徳容貌・足〔ラ〕不ルカ若シ。子カ〔之〕驕氣ト多欲與・態色ト淫志與ヲ去ケヨ。是皆〔於〕子カ〔之〕身ニ益無〔シ〕〔也〕。吾子

者・可為鶩。飛者・可為鷺。至於龍・吾不能知。
乘風雲而上。吾今日見老子其猶龍耶。

3才2 老子修道。其學以自隱・無名為務。居周久。平王
時・見周衰乃遂去至關・く令尹喜・望見東方有來
人・變化無常・乃謁請之。老子・知喜入道。於是
留與之言。喜曰・子將隱矣。彊為我著書於是・老
子・著上下二篇・八十一章・五千餘言。故彌曰老
子經。已而去・莫知其所終。蓋老子百六十餘歲。
或言二百餘歲。以其修道而養壽也。

二告(ク)ル所(以)ハ・是ノ若ク而(已)ナリ。孔子去(リ)テ・
諸弟子ニ謂リテ曰(ク)・鳥(ヲ)ハ・吾其ノ能(ク)飛(フ)コ
トヲ知(レ)リ。魚(ヲ)ハ・吾其ノ能(ク)游(ク)コトヲ知(レ)リ。
獸(ヲ)ハ・吾其ノ能(ク)走(ル)コトヲ知(レ)リ。々(走)ル者
ヲハ・羅(ヲ)為(可)シ。游(ク)者(ヲ)ハ・罾(ヲ)為(可)シ。飛(フ)者
ヲハ・罾(ヲ)為(可)シ。〔於〕龍(ニ)至(リ)テハ・吾知(ル)コト能(ハ
不)。風雲(ニ)乘(リ)テ〔而〕上(ル)。吾今日(見)老子ヲ見ルニ其
レ猶龍ノ「猶」キ耶。

老子道ヲ修ム。其ノ學以(テ)モテ自(ラ)隱ル・無(ク)名ヲ務ト為。
周(ニ)居(ル)コト久シ。平王ノ時。周ノ衰ヘタルヲ見テ乃(チ)
遂(ニ)去(リ)テ關(ニ)至(ル)・々(關)ノ令尹喜・東方ヲ望ミ見
(ル)ニ來(ル)人(有)リ・變化無(ク)シ。乃(チ)謁請ス(之)ト云。老子・
喜カ道(ニ)入(ル)ヘキコトヲ知(リ)テ・是(ニ)於(テ)留(リ)テ之(ト)與言
(フ)。喜カ曰(ク)・子將(ニ)隱(レ)ナントス(將)矣。彊(シ)上(レ)ヒ
テ我カ為(ニ)書(ラ)著(去)ハセト。(是)ニ於(テ)・老子・上(レ)下(二)二
篇・八十一章・五千餘言ヲ著(去)ハス。故(ニ)號(シ)ケテ老
子(ノ)經ト曰(フ)。已(ニ)ノ(而)去(シ)ヌ・其(ノ)終(ヘ)ケン所ヲ知
(ル)コト莫(シ)。蓋シ老子(ハ)百六十餘歲ナリト云。或(ヒ)ト
ノ言ク二百餘歲ナリト。其ノ道ヲ修メテ〔而〕壽ヲ養ヘルヲ

4才1老子之子・名宗・く・為魏將・封於段干。宗子瑤・
く子宮・く子瑕・仕於漢孝文帝。而瑕之子解・為
膠西王卬大傅。因家于齊。文帝興用經道・竇太后・
好老子術。令景帝以教。群臣不通者・不得仕朝。
見老子無為自化・清靜自正・世莫能名。太史公・
謂之為隱君子・世莫能及・則黜之。唯孔子上聖・
謂之為龍。古・列傳著孔子師事老子者。以禮記・
曾子・問禮於孔子・孔子曰・吾聞之老聃・其斯之
謂。

5才2 所以分為二篇者・取象天地。先道而後德・以經云・
道之尊・德之貴・尊故為上。天以四時生・地以五
行成・以四乘九。故卅六。以應禽獸萬物剛柔。以
五乘九。故四十五。以應九宮・五方・四維・九州・
法備・因而九之・故九く八十一數之極。楚縣・今

以テナリ(也)。

老子ノ(之)子・名宗・々(宗)・魏ノ將(去)為(リ)・(於)段
干ニ封セラ。宗カ子瑤・々(瑤)カ子宮・々(宮)カ子瑕・
〔於〕漢ノ孝文帝(ニ)仕フ。(而)瑕カ(之)子解。膠西王卬カ
大(去)傅為(リ)。因(リ)テ(于)齊ニ家ス。文帝經ノ道ヲ興
〔平〕シ用ル。竇太后・老子ノ術ヲ好(去)ム。景帝ヲ(令)
以テ教ヘ(令)ム。群臣ノ通セ(ル)者ハ朝(平)ニ仕(フ)
ルコトヲ得(不)。老子ノ無(去)為ニシテ自化シ・清靜ニ(自)正ナ
リト云ヲ見(ル)。世能(ク)名ツケルコト莫(ク)シ。太史公・之
ヲ謂(ヒ)テ隱君子ト為(ス)。世能(ク)及(フ)コト莫(ク)シ。(則)黜
ク(之)。唯孔子ノ上(リ)聖ナル・之ヲ謂(ヒ)テ龍ト為(ス)。古ノ列
傳ニ孔子老子ニ師シ・事フト著(去)セルハ(者)。以(ミル)ニ禮
記ニ。曾子・禮ヲ(於)孔子ニ問(フ)・孔子曰(ク)・吾之ヲ
〔老〕聃ニ問ト云リ・其レ斯ヲ(之)謂(フ)。

分(ク)テ二篇ト為(ル)所(以)ハ(者)・象ヲ天地ニ取(ル)。道
ヲ先(ク)ニシテ(而)德ヲ後(去)ニスルコトハ・以(ミル)ニ經ニ云・
道ノ(之)尊・德ノ(之)貴ト云リト故ニ上ト為(ス)。天ハ四
時ヲ以テ生(ス)・地ハ五行ヲ以テ成(ス)・四ヲ以テ九ヲ乘(ス)。故
ニ卅六。以テ禽獸萬物ノ剛柔ニ應(去)ス。五ヲ以テ九ヲ乘

陳圀⁶⁹・苦縣⁷⁰是也。⁷¹

5ウ5河上公者・居河上・蹠履為業。孝文⁷²皇帝・好老子。其州牧・二千石・有不誦老子經者・不得居官。⁷⁴河上公・作兩難・與侍郎・問文帝老子經意。文帝不解・出就河上公・く・在草菴中・不時出。文帝就・謂之曰・朕・能使人富貴貧賤。河上公乃出曰・余・上不累天・下不累地・中不累人。陛下⁷⁸・何能使余富貴貧賤乎。忽然而舉上・高百餘丈而止。上無所攀⁸⁴・下無所據⁸⁵。文帝卑辭禮謝⁸⁶之。於是・乃下為文帝・作老子經章句⁸⁸。隱其姓名⁸⁹・時人・無知者⁹⁰・故彌⁹²・曰河上公焉。

ス。故二四十五。以テ九宮・五方・四維・九州ニ應(去)ス・法¹備ハル・因テ(而)九ニス(之)・故ニ九々八十一・數ノ(之)極ナリ。楚¹縣ハ・今ノ陳圀ノ・苦縣・是ナリ(也)。

河上公ハ(著)・河上ニ居テ・蹠履ヲ業ト為。孝文¹皇帝。老子ヲ好(去)ム。其ノ州ノ牧・二千石ノ・老子經ヲ誦セ¹不(ル)コト有(ル)者ハ・官ニ居(ル)コトヲ得¹不。河上公・兩ノ難ヲ作(ル)。侍郎ニ與ヘテ・文帝ニ老子經ノ意ヲ問(フ)。文帝解ラ不・出(テ)テ河上公ニ就ク・々(公)・草菴ノ中ニ在(リ)テ・時ニ出(テ)不。文帝就(キ)テ・謂リテ(之)曰(ク)・朕・能ク人ヲノ(使)富貴貧賤ナラシ(使)ム(メン)。河上公乃(チ)出(テ)テ曰(ク)・余・上天ニ累(去)ハ不・下地ニ累(去)ハ不・中人ニ累(去)ハ不。陛下¹・何ソ能ク余ヲノ(使)富貴貧賤ナラ(使)メン乎ト云テ・忽然トソ(而)舉リ上(上)ル・高サ百餘丈ニソ(而)止(マ)ル。上攀ツル所無(ク)・下據ル所無(シ)。文帝辭ヲ卑(ク)ノ禮¹謝ス(之)。〔於〕是ニ・乃(チ)下(去)リテ文帝ノ為(去)ニ・老子經ノ章句ヲ作(去)ル。其ノ姓名ヲ隱ス・時ノ人・知レル者無(シ)・故ニ號¹ソ・河上公ト曰(フ)(焉)

校異

- 1 「東急」序「字無し・題下、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵」葛洪二字、「無窮・筑波・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋」葛洪序「三字有り」
- 2 「龍門」若「に作る」
- 3 「慶Ⅱ・武内」懸「に作る」
- 4 「活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・無窮・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ・武内・東洋」姪「に作る」
- 5 「梅沢」之「字無し」
- 6 「活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・陽Ⅱ」太「に作る」
- 7 「其少」筑波「少其」に作る
- 8 「周」字下、東急「而」字有り
- 9 「禮於」弘文「於禮」に作る
- 10 「武内・東洋」之「字無し」
- 11 「慶Ⅱ」喜「に作る」
- 12 「則」字下、慶Ⅱ「々」有り
- 13 「蓬」字下、東急「菜」字有り
- 14 「斯Ⅱ」而「字無し」
- 15 「慶Ⅱ」為「に作る」
- 16 「筑波」惠「に作る」
- 17 「去」字下、無窮「之」字有り
- 18 「足利」夢「に作る」
- 19 「大東」熊「に作る」
- 20 「東大」涇「に作る」
- 21 「是皆」足利「皆是」に作る
- 22 「慶Ⅰ・大東・武内・六地」无「に作る」
- 23 「無窮・梅沢・東急・陽Ⅱ」而「字無し」
- 24 「陽Ⅰ」諺「字無し」
- 25 「東急」於「字無し」
- 26 「風雲、陽Ⅰ・書陵・龍門・梅沢・東大・東急・六地・陽Ⅱ」雲風「に作る」
- 27 「雲風」五「字無し」
- 28 「陽Ⅰ・梅沢・東急・六地・陽Ⅱ」邪「に作る」
- 29 「慶Ⅰ・大東・六地・陽Ⅱ」无「に作る」
- 30 「慶Ⅱ」生「に誤る」
- 31 「筑波・慶Ⅰ」哀「に作る」
- 32 「望見東方、弘文」東方望見「に作る」
- 33 「武内」有「字無し」
- 34 「武内・東大・六地」无「に作る」
- 35 「喜」字上、「無窮」日「字有り」
- 36 「弘文」而「字無し」
- 37 「龍門・六地」其「字無し」
- 38 「蓋」字上、「弘文」而「字有り」
- 39 「或」字下、「弘文」人「字有り」
- 40 「東急」二「字無し」
- 41 「壽」字下、書陵・龍門・筑波・梅沢・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・足利「改」に誤る
- 42 「足利」官「に作る」
- 43 「慶Ⅱ」任「に作る」
- 44 「武内」老「に誤る」
- 45 「弘文」瑶「に誤る」
- 46 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・書陵・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・六地・陽Ⅱ」太「に作る」
- 47 「陽Ⅱ」齋「に作る」
- 48 「無窮・慶Ⅱ」與「に作る」
- 49 「龍門・六地」大「に作る」
- 50 「慶Ⅱ」京「に誤る」
- 51 「慶Ⅱ」任「に作る」
- 52 「慶Ⅰ・武内」无「に作る」
- 53 「武内」佗「に作る」
- 54 「活Ⅰ・活Ⅱ・武内」淨「に作る」
- 55 「陽Ⅰ・筑波・慶Ⅰ・大東」大「に作る」
- 56 「慶Ⅱ」上「字無し」
- 57 「書陵」之「字無し」
- 58 「取」字下、「無窮」斯「字有り」
- 59 「取」字下、「無窮」斯「字有り」
- 60 「天地」上、「東洋」於「字有り」
- 61 「慶Ⅱ」后「に作る」
- 62 「書陵・龍門・弘文・慶Ⅱ」尊「字無し」
- 63 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・弘文・東洋」三十「に作る」
- 64 「萬物」下、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・

弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・六地・陽Ⅱ「之」字有り
 66 「四十」〔筑波・梅沢・慶Ⅰ・弘文・斯Ⅱ〕「世」字有り
 67 「法」字上、活Ⅰ・活Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内「故」字有り
 68 「極」字下、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・六地「也」字有り
 69 「武内」〔陣〕に誤る
 70 諸本「國」字に作る
 71 「楚縣今陳固苦縣是也」〔東洋〕小字及行に書写
 72 「不」字上、諸本「皆」字有り
 73 「書陵・弘文」〔宮〕に作る
 74 「龍門・六地」〔公〕字無し
 75 「活Ⅰ・活Ⅱ・龍門・書陵・筑波・弘文・慶Ⅱ・武内・六地」〔庵〕字に作る

76 「慶Ⅱ」〔三〕に作る
 77 「活Ⅰ・活Ⅱ・武内」〔階〕に作る
 78 「龍門」〔貧〕字無し
 79 「東大・筑波」〔攀〕に作る
 80 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ」〔七百〕に作る
 81 「武内・東大・東洋・陽Ⅱ」〔七百〕に作る
 82 「龍門」〔二〕字無し
 83 「慶Ⅰ・大東・武内・東大」〔无〕に作る
 84 「活Ⅰ」〔舉〕に誤る
 85 「慶Ⅰ・大東・武内」〔无〕に作る
 86 「龍門」〔禮〕「禮」一字衍
 87 「弘文」〔之〕字無し
 88 「句」字下、弘文「之」字有り
 89 「姓」字下、弘文「名」字有り
 90 「慶Ⅰ・大東・武内・東大・陽Ⅱ」〔无〕に作る
 91 「慶Ⅱ」〔故〕字に無し
 92 「足利・弘文・慶Ⅱ」〔焉〕字無し

7才1老子道經

河上公章句第一²

體道第一³

道可道

謂經術政教之道也⁴

非常道

非自然長生之道也⁵常道當以无為養神无事安民舍⁶
⁷

老子道經

河上公章句第一

體道第一

道ノ道タル可キハ

經ノ術政ノ教ノ〔之〕道ヲ謂〔フ〕〔也〕

常ノ道ニ非ス

自然長生ノ〔之〕道ニ非ス〔也〕。常ノ道ハ・當ニ无為ヲ以

光當藏暉滅跡匿端不可稱道¹⁰

名可名

謂富貴尊榮高世之名也¹¹

非常名

非自然常在之名也常名當如櫻兒之未言雞子之未
分明珠在蚌中美玉處石間内雖昭々外如愚頑

無名天地之始²⁴

无名者謂道く无形故不可名也天地始者道也吐氣
布化出於虚无為天地本始也

有名萬物之母

有名謂天地天地有形位有隕陽有柔剛是其名也萬
物母者天地含氣生万物長大成就如母之養子

テ神ヲ養ヒ・无^リ事ニシテ民ヲ安ス「當^リシ・光ヲ含^ミ暉ヲ藏^ス
シ・跡ヲ滅^ケシ端ヲ匿^{ハシ}テ道ト稱ス可^ク（カラ）不

名ノ名タル可^ク（キ）ハ

富貴尊榮・世ニ高フル^テ之^レ名ヲ謂^フ（也）

常ノ名ニ非ス

自然常在ノ^レ名ニ非ス（也）。常ノ^レ名ハ・當ニ櫻兒ノ
「^レ未^ク言ハ^ズ未^ク・雞子ノ^レ之^レ未^ク分^レ未^ク・明珠ノ蚌^中

中ニ在^リ）・美玉ノ石間ニ處ルカ如^ク・内ハ昭々タリ
ト雖（モ）・外ハ愚頑ノ如クナル「當^リシ

無名ハ・天地ノ^レ之^レ始メ

无^レ名ト云ハ（者）・道ヲ謂^フ（ヒ）・々（道）ハ形无^シ・故ニ名
ツク可^ク（カラ）不^レ（也）。天^ノ地ノ始ト云ハ（者）・道ナリ（也）。

氣ヲ吐^キ化ヲ布^イテ・（於^テ）虚^ニ无^クヨリ出^テ・天^ノ地ノ本
始^ニ為^リ（也）

有名ハ・萬物ノ^レ之^レ母ナリ

有名ト云ハ・天^ノ地ヲ謂^フ（フ）・天^ノ地ハ形位有^リ）・陰陽
有^リ）・柔剛有^リ）・是^レ其ノ^レ名ナリ（也）。萬物ノ母

ト云ハ（者）・天^ノ地・氣ヲ含^ミテ万物ヲ生^ス・長^ク大成^ス
就スルコト・母ノ^レ之^レ子ヲ養^フカ如^シ）

故常無欲以觀其妙

妙要也人常能無欲則可以觀道之要一也一出

布名

道讚叙明是非也

常有欲以觀其微

微婦也常有欲之人可以觀世俗之所歸趣也

此兩者同出而異名

兩者謂有欲無欲也同出者同出人心也而異名者所
名各異也名無欲者長存名有欲者亡身者也

同謂之玄

玄天也言有欲之人與無欲之人同受於氣於天

玄之又玄

天中復有天也稟氣有厚薄得中和滋液則生賢聖得
錯乱濁溲則生貪淫也

故二常二無欲ニシテ以テ其ノ妙ヲ觀(ル)

妙ハ要也。人常ニ能ク无欲ナルトキハ、則以テ

道ノ之要ヲ觀(ル)可シ。々々要ト云ハ、一ヲ謂(フ)

也。一出テ、名ヲ布ク。道讚叙シテ是非ヲ明カス也。

常有欲ニシテ以テ其ノ微ヲ觀(ル)

微ハ婦也。常有欲ノ人ハ、以テ世俗ノ之歸キ、
趣ク所ヲ觀(ル)可シ也。

此ノ兩者ハ、同ク出テ、而名異ナリ

兩者ト云ハ、有欲无欲ヲ謂(フ)也。同ク出(ツ)ト

云ハ、者・同ク人ノ心ヨリ出(ツ)ルソ也。而名異ナリ

ト云ハ、者・名(ツ)クル所各異ナリ也。无欲ニ名(ツ)

クル者ハ、長ク存シ、有欲ニ名(ツ)クル者ハ身ヲ亡ホス者

ナリ也。

同ク之ヲ玄ト謂(フ)

玄ハ天也。言ハ有欲ノ人ト、无欲ノ人ト、同

シク於氣ヲ於天ニ受ケタリ

玄ノ之又玄

天ノ中ニ復テ天有(リ)也。氣ヲ稟クルコト厚薄有(リ)・

中ノ滋液ヲ得ツルトキハ、則賢聖ヲ生ス・錯乱濁

溲ヲ得ツルトキハ、則賢聖ヲ生ス・錯乱濁

衆妙之門

能知天中復有天⁹⁰氣有厚薄除情欲守中和是謂知⁹¹
道要之門戶者也

校異

- 1 「老子道經」、〔武内〕此の四字無し、「慶Ⅱ」「老子經上道」に作る。活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・東大・東洋・六地・陽Ⅱ・天理・慶Ⅰ・大東は「經」字下に「上」字有り、「慶Ⅰ・大東」の「上」字は小字、「仁和・世徳」は「經」字下「卷上」の二字有り
- 2 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・仁和・六地・陽Ⅱ・道蔵・天理「第一」二字無し、無窮「一」字下に「品」字有り
- 3 書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・東急・杏Ⅰ・六地・陽Ⅱ・章題無し、「武内・東大・東洋」「道」字下「章」字有り、「筑波・弘文・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・仁和」「道可道章第一」に作る
- 4 慶Ⅰ・大東「也」字無し
- 5 道蔵「也」字無し
- 6 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅱ・東急・杏Ⅰ・仁和・宋版・世徳・道蔵・天理「無」に作る
- 7 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅱ・東急・杏Ⅰ・仁和・宋版・世徳・道蔵・天理「無」に作る
- 8 道蔵「輝」に作る
- 9 宋版・世徳「迹」に作る
- 10 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・杏Ⅰ・仁和・道蔵・天理「道」字下に「也」字有り

衆^{シヨウ}妙ノ^ノ之^ノ門ナリ
溥^{シヨウ}ヲ得^ルツル^ルトキハ・〔則〕貪淫ヲ生ス〔也〕
能^ルク天ノ中ニ復^ク去^ク天有^リ・々^々天ノ氣ニ・厚薄有^ルノ^ノ之^ノ門^ノ戸^ノヲ知^ルル者ト謂^フヲ〔也〕

コトヲ知^ル。情欲ヲ除^クテ・中^ノ和ヲ守^ルル・是ヲ道要

- 11 天理「也」字無し
- 12 道蔵・天理「也」字無し
- 13 宋版・世徳「愛」に作る
- 14 無窮「知」に作り、弘文「始」字に誤る
- 15 活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・筑波・慶Ⅰ・大東・仁和・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・杏Ⅰ・世徳・道蔵・天理「嬰」に作る
- 16 慶Ⅰ・大東・仁和「之」字無し
- 17 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・筑波・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・天理「鷄」に作る
- 18 梅沢「之」字無し
- 19 書陵・龍門・無窮・梅沢「蟬」に、「斯Ⅱ・杏Ⅰ」「蚌」に作る
- 20 道蔵「在」に作る
- 21 無窮・足利・弘文・慶Ⅱ「照」に作る
- 22 「愚頑」「道蔵」「頑愚」に作る
- 23 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・慶Ⅱ・東大・東洋・杏Ⅰ・仁和・天理「は」「者」也、「東急」に「者」之の二字有り、「慶Ⅱ」は「也」字下字間に更に「矣」字を加筆
- 24 武内「无」に作る
- 25 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅱ・杏Ⅰ・宋版・世徳・大東・東急・道蔵・天理「無」に作る
- 26 書陵・龍門・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・東急・道蔵「者」字無し

- 27 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ〕梅Ⅰ・大東・慶Ⅱ・東大・東急・杏Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理〔無〕に作る
- 28 〔慶Ⅱ〕〔也〕字無し
- 29 〔梅Ⅰ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東急・宋版・世徳・道蔵〕天地〔字無し〕
- 30 〔道也〕の間、〔宋版・世徳〕〔本〕一字、〔道蔵〕〔之本〕二字有り
- 31 〔活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ〕梅Ⅰ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・杏Ⅰ・仁和・天理〔也〕字無し
- 32 〔梅Ⅰ〕〔於〕字無し
- 33 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・梅Ⅰ・足利・筑波・弘文・慶Ⅱ〕東急・杏Ⅰ・仁和・世徳・道蔵・天理〔無〕に作る
- 34 〔地〕字下、〔無窮・梅Ⅰ・足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ〕東急・杏Ⅰ〔之〕字有り
- 35 〔武内〕〔也〕字無し、〔道蔵〕〔者也〕、〔梅Ⅰ〕〔也之〕に作る
- 36 〔宋版・世徳・道蔵〕〔有〕字無し
- 37 〔柔剛〕、〔道蔵〕〔剛柔〕に作る
- 38 〔東大〕〔有〕に作る、〔其〕字下、〔梅Ⅰ・宋版・世徳〕〔有〕字有り
- 39 〔東急〕〔母〕字を脱す
- 40 〔仁和〕〔者〕字無し
- 41 〔陽Ⅰ〕〔合〕に作る
- 42 〔書陵・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ〕梅Ⅰ・東急・杏Ⅰ・宋版・世徳〔熱〕に作る
- 43 〔之〕字下、〔弘文〕〔如〕字有り
- 44 〔子〕字下、〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・筑波・斯Ⅱ〕梅Ⅰ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋〔也〕字有り、〔慶Ⅱ〕〔也矣〕二字有り
- 45 〔慶Ⅰ・大東・武内・東大・六地〕〔无〕に作る
- 46 〔妙〕字下、〔足利・弘文・斯Ⅱ〕〔者〕字有り
- 47 〔慶Ⅱ〕〔已〕に作る
- 48 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ〕梅Ⅰ・東急・杏Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理〔無〕に作る
- 49 〔欲〕字下、〔大東〕〔無欲〕二字有り、衍文か
- 50 〔道蔵〕〔可〕字無し
- 51 〔觀道〕の間、〔活Ⅱ・無窮・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・杏Ⅰ・天理〕〔大〕字有り
- 52 〔道〕字下、〔弘文〕〔々〕有り
- 53 〔弘文〕〔要〕字無し、〔道蔵〕〔妙〕に作る
- 54 〔謂〕字下、〔慶Ⅱ〕〔之〕字有り
- 55 〔弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ〕〔也〕に作る
- 56 〔世徳〕〔出布名道讚叙明是非也〕十一字無し
- 57 〔常〕字上、〔足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ〕〔武内〕〔故〕字有り
- 58 〔無窮〕〔其〕字無し
- 59 〔無窮・筑波・弘文・慶Ⅱ〕〔武内・東洋・仁和〕〔版〕に作る
- 60 〔常〕字上、〔筑波〕〔故〕字有り、〔足利〕〔常也〕二字有り
- 61 〔可〕字上、〔東急〕〔則〕字有り
- 62 〔無窮・筑波・慶Ⅱ〕〔武内・東洋・仁和〕〔版〕に作る
- 63 〔慶Ⅰ〕〔也〕字無し
- 64 〔慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋〕〔而〕字無し
- 65 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅Ⅰ〕慶Ⅱ・東急・杏Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理〔無〕に作る
- 66 〔慶Ⅱ〕〔者〕字無し
- 67 〔同〕字上、〔筑波・武内〕〔有〕字有り、〔道蔵〕〔謂〕字有り
- 68 〔道蔵〕〔於〕に作る、〔弘文・慶Ⅱ〕〔同出〕二字無し
- 69 〔入〕字下、〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・梅Ⅰ・無窮・足利・筑波・慶Ⅰ〕大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・杏Ⅰ・仁和・天理〔之〕字有り
- 70 〔梅Ⅰ〕〔道蔵〕〔也〕字無し
- 71 〔道蔵〕〔而〕字無し
- 72 〔異名〕、〔東急〕〔名異〕に作る
- 73 〔斯Ⅱ〕〔々〕〔名〕に作る、〔道蔵〕〔曰〕に作る
- 74 〔道蔵〕〔也〕字無し
- 75 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・梅Ⅰ・慶Ⅱ〕東急・杏Ⅰ・宋版・世徳・道蔵・天理〔無〕に作る
- 76 〔者也〕、〔道蔵〕此の二字無し、〔宋版・世徳〕〔者〕一字無し、〔慶Ⅱ〕〔者也矣〕三字に作る
- 77 〔玄〕字下、〔慶Ⅱ〕〔者〕字有り
- 78 〔道蔵〕〔謂〕に作る
- 79 〔人〕字下、〔東洋〕〔者〕字有り
- 80 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・梅Ⅰ〕東

洋・東急・宋版・世徳・道蔵・天理「無」に作る
 81 「書陵・慶Ⅰ」に作る
 82 「於」諸本に無し
 83 「天」字下、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・仁和・天理「也」字有り
 84 「厚薄」、書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・仁和「薄厚」に作る
 85 「得」字上、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・筑波・慶Ⅰ・大東・

武内・東大・東洋・仁和・天理「夫人」二字有り
 86 「賢聖」慶Ⅱ「聖賢」に作る
 87 宋版・世徳「汚」に作る
 88 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・東急・宋版・世徳・道蔵・天理「辱」に作る
 89 筑波・道蔵・天理「也」字無し
 90 慶Ⅱ此の字無し、活Ⅰ・活Ⅱ・大東・慶Ⅰ・武内・東大・東洋・宋版・世徳・道蔵・天理「真」に作る
 91 書陵「和」に作る
 92 「者也」、「道蔵」此の二字無し、「宋版・世徳」「者」一字無し

9才3 養身第二¹

養身第二

天下皆知美之為美

天下皆知美ノ之¹美為¹ルコトヲ知^レリ

自揚已美使顯彰也

自^ミラ^{オレ}己^カ美ヲ揚^ケテ・顯彰ナラ使ム^也

斯惡已

斯^{コレ}己^レヲ惡^ニヘ去^スルナリ

有庖已也⁴

己^レヲ庖ムルコト有^リ也

皆知善之為善

皆善ノ之¹善為¹ルコトヲ知^レリ

有功名也⁵

功¹名有^リ也

斯不善已

斯^レ己^レヲ善セ不^ルナリ

人所爭也^{6 7}

人ノ争フ所ナリ也

故有無相生^{8 9}

故ニ有¹無相¹生^リ

見有而為无也¹⁰

有¹ヲ見テ・而¹无ト為^レ也

難易相成¹¹

見難而為易也¹²

長短相形¹³

見短而為長也¹⁴

高下相傾¹⁵

見高而為下也¹⁶

音声相和¹⁷

上唱下如和也¹⁸

前後相隨¹⁹

上行下必隨也²⁰

是以聖人處無為之事²¹

以道治也²²

行不言之教²³

以身師導之也²⁴

萬物作焉²⁵

各自動作也²⁶

而不辭²⁷

不辭謝而逆止²⁸

生而不有²⁹

難「易へ去」ノ相「成」(リ)

難ヲ見テ・「而」易へ去シト為「也」

長「短」ノ相「形」ハレ

短キヲ見テ・「而」長シト為「也」

高「下」相「傾」ク

高キヲ見テ・「而」下へ去レリト為「也」

音「声」相「和」へ去シ

上「唱」(へ)テ・下和へ去スルカ如(シ)「也」

前「後」相「隨」フ

上「行」フトキハ・下必ス「隨」フ「也」

是ヲ「以」テ・聖「人」ハ・無「為」ノ「之」事ニ處(上)(リ)

道ヲ「以」テ治ム「也」

不「言」ノ「之」教ヲ行フ

身ヲ「以」テ師トシ「導」ク「之」也

萬「物」作ス「焉」

各自(ラ)動「作」ス「也」

而テ辭セ不

辭「謝」セ不「而」逆「止」ス

生「ノ」(而)有セ不

元氣生万物而不有³⁴

為而不恃³⁷

道所施為不恃望其報也³⁸

功成而弗居⁴¹

功成事就退避不居其位⁴⁴

夫唯弗居⁴⁶

夫唯功成不居其位也⁵¹

是以不去

福德常在不去其身也也此言不行不可隨不言不可

和疾上六句有高下長短君開一源下生百端之變无⁶⁰

不動乱⁶¹

元氣・万物ヲ生ノ〔而〕有セ不

為ノ〔而〕恃マ不

道ノ施ヲ為スル所・其ノ報ヲ恃ミ望マ不〔也〕

功成〔リ〕テ〔而〕居ラ弗

功成リ事就リテ退キ避ケテ其ノ位ニ居ラ不

夫〔平〕レ唯居ラ弗

夫〔平〕レ唯功成〔リ〕テ其ノ位ニ居ラ不〔也〕

是〔ラ〕以テ去〔ラ〕不

福徳常在〔在〕リテ其ノ身ヲ去〔ラ〕不〔也〕。此ハ言ハ行

ハ不ハ随フ可カラ不〔言〕ハ不〔ハ〕和去ス可カラ

不・上ノ六句・高下長短有〔リ〕君一源ヲ開クトキハ

下百端ノ〔之〕變ヲ生シテ動シ乱ラ不ト云コト无〔キ〕コ

トヲ疾ム

校異

1

〔書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ〕章題無し、

〔武内・東大・東洋〕「身」字下「章」字有り、〔慶Ⅰ・大東〕天下

〔無窮・足利・斯Ⅱ・梅沢〕「楊」に作る

〔已〕諸本「己」に作る

〔慶Ⅰ・大東〕「者」に作る

〔大東〕「切」に誤る

〔無窮〕「所」字下「故」字有り

7 〔弘文〕「尚」に作る

8 〔慶Ⅰ・大東・武内・六地〕「无」に作る

9 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

Ⅱ・梅沢〕慶Ⅰ・大東・武内・慶Ⅱ・東大・東洋・東急・陽Ⅱ・六

地・天理〕「相」字上、〔之〕字有り

10 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・東

急・宋版・世徳・道藏・天理〕「無」に作る

11 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

Ⅱ・梅沢〕慶Ⅰ・大東・武内・慶Ⅱ・東大・東洋・東急・陽Ⅱ・六

- 地・道蔵・天理「相」字上、「之」字有り
 12 「武内」に作る
 13 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ」に作る
 14 「見短而爲長」に作る
 15 「見短而爲長」に作る
 16 「見高而爲下也」に作る
 17 「見高而爲下也」に作る
 18 「如」諸本「必」字に作る
 19 「後」慶Ⅱ「后」字に作る
 20 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ」に作る
 21 「龍門・慶Ⅰ・武内・六地・治要」に作る
 22 「道蔵」に作る
 23 「龍門・慶Ⅰ・武内」に作る
 24 「陽Ⅰ・弘文・斯Ⅱ」に作る
 25 「書陵・武内・治要・道蔵」に作る
 26 「導之」に作る
 27 「導之」に作る
 28 「導之」に作る
 29 「導之」に作る
 30 「導之」に作る
 31 「導之」に作る
 32 「導之」に作る
 33 「導之」に作る
 34 「導之」に作る
 35 「導之」に作る
 36 「有」字下、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱに作る
 37 「道蔵」に作る
 38 「道蔵」に作る
 39 「道蔵」に作る
 40 「道蔵」に作る
 41 「道蔵」に作る
 42 「道蔵」に作る
 43 「道蔵」に作る
 44 「道蔵」に作る
 45 「道蔵」に作る
 46 「道蔵」に作る
 47 「道蔵」に作る
 48 「道蔵」に作る
 49 「道蔵」に作る
 50 「道蔵」に作る
 51 「道蔵」に作る
 52 「道蔵」に作る
 53 「道蔵」に作る
 54 「道蔵」に作る
 55 「道蔵」に作る
 56 「道蔵」に作る
 57 「道蔵」に作る
 58 「道蔵」に作る
 59 「道蔵」に作る
 60 「道蔵」に作る
 61 「道蔵」に作る

天理「也」一字、「東洋」「也之」二字有り

10ウ2 安民第三¹

不尚賢

賢謂世俗之賢²辨³口明文離道行權去質為文也⁴不尚⁵者不貴之以祿⁶不貴之以官⁷不貴之以祿⁸不貴之以官⁹

使民不爭

不爭功名返自然也¹⁰¹¹

不貴難行之貨

言人君不御好珍黃金¹²棄於山珠玉¹³捐於淵也¹⁴¹⁵¹⁶¹⁷¹⁸

使民不為盜

上化清淨¹⁹下无貪人²⁰²¹²²

不見可欲

放鄭声²³遠美人²⁴

使心不乱

安民第三

賢ヲ尚ヒ不^{タラフト}

賢ト云ハ・世ノ俗ノ〔之〕賢ノ・辨ノ口明ノ文ニシテ・道ヲ離去レ權ヲ行ヒ・質ヲ去ヘ上〔リ〕テ文ヲ為〔ス〕ヲ謂〔フ〕〔也〕。尚ヒ不ト云ハ〔者〕・貴フルニ〔之〕祿ヲ以テセ不・貴フルニ〔之〕官ヲ以テセ不〔ル〕ソ

民ヲ使テ争ハ不ラ〔使〕ム

功ノ名ヲ争ハ不シテ・自然ニ返ル〔也〕

行〔得〕難キ〔之〕貨ヲ貴ヒ不

言ハ人君・好珍ヲ御セ不・黄金ヲ〔於〕山ニ弃テ・珠玉ヲ〔於〕淵ニ捐ツ〔也〕

民ヲ使テ盗ヲ為不ラ〔使〕ム

上ノ化清淨ナルトキハ下ニ貪人无〔シ〕

可〔欲〕ヲ見〔サ〕不

鄭ノ声ヲ放チ・美人ヲ遠〔去〕ク

心ヲ使テ乱レ不ラ〔使〕ム

不邪淫不惑乱也²⁵²⁶²⁷

是以聖人之治²⁸

說²⁹聖人治國猶治身也³⁰³¹³²

虛其心

除嗜欲去乱煩³³³⁴³⁵

實其腹

懷道於一守五神也³⁷

弱其志

和柔謙讓不処權也³⁸

強其骨

愛精重施髓滿骨堅³⁹⁴⁰

常使民無知無欲⁴¹⁴²

反朴守淳⁴³⁴⁴

使夫知者不敢為也⁴⁵

思慮深不輕言⁴⁶

爲無爲⁴⁷

不造作動因循⁴⁸⁴⁹

則無不治⁵⁰⁵¹

邪淫ナラ不・惑乱セ不(ル)ン(也)

是「以テ聖「人ノ」之「治」ハ

聖「人ノ」國ヲ治(ム)ルコト・身ヲ治(ム)ルカ猶(キ)コトヲ說

去(フ)(也)

其ノ「心」ヲ虚クシ

嗜「欲」ヲ除キ・乱「煩」ヲ去(上)ク

其ノ「腹」ヲ實ツ

道ヲ「於」ニ懷(キ)テ五「神」ヲ守ル(也)

其ノ「志」ヲ弱(ク)シ

和「柔謙讓」ニシテ・權ニ処(ラ)不(也)

其ノ「骨」ヲ強ウス

精ヲ愛シ施ヲ重シテ髓「滿」(チ)骨「堅」シ

常ニ民ヲ使テ無「知無欲」ナラ「使」ム

朴ニ反リ淳ヲ守ル

夫ノ知(去)者ヲ使テ・敢テ為不(ラ)「使」ム

思「慮深」(ク)シテ・輕(去)シク「言」(ハ)不

無「爲」ヲ爲(ス)トキハ

造「作」セ不・動(ク)コト因「循」ナリ

〔則〕治マラ不ト云コト無(シ)

德⁵²化厚⁵³百姓安也⁵⁴

校異

- 1 「書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ」章題無し、
〔武内・東大・東洋〕「民」字下〔章〕字有り、〔筑波・弘文・慶Ⅰ・
大東・慶Ⅱ〕「不尚賢章第三」に作る
- 2 「足利」〔欲〕字に誤る
- 3 「活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・慶Ⅰ・東急・宋版・世徳・道蔵・天理」〔辯〕
字に「武内・東大・東洋」并「弁」字に作る
- 4 「治要」〔辨口明文離道行權〕の八字無し
- 5 「道蔵」〔也〕字無し
- 6 「治要」〔去質爲文也不尚〕七字無し
- 7 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・道蔵・天
理」〔尊〕字に作る
- 8 「治要」〔以禄不貴之以官〕の七字無し、従って「不尚賢」句下の
注は「賢謂世俗之賢者不貴之也」に作る
- 9 「官」字下、〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・
弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・道蔵・
天理〕〔也〕一字〔東洋〕は「也之」二字有り
- 10 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・梅沢・天理・治要」は
〔反〕に、〔道蔵〕は「乃」に作る
- 11 「斯Ⅱ」〔矣〕に作る
- 12 「行」諸本「得」に作る、此の本恐らくは誤写
- 13 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大
東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理」は「珎」字に、〔道蔵〕
は「珍寶」、〔宋版・世徳〕は「玕寶」、〔弘文〕は「玕玕」二字に作
る
- 14 「黃」字上、〔道蔵〕〔則〕字有り
- 15 「書陵・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・杏Ⅰ・宋版・世
徳」〔襄〕に作る
- 16 「足利」〔損〕に「筑波・斯Ⅱ」〔指〕に作る
- 17 「陽Ⅰ」〔闕〕に作る
- 18 「宋版・世徳」〔也〕字無し

德化厚(ク)シテ・百姓安シ(也)

- 19 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅
沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・杏Ⅰ・東急・治要」〔靜〕に作る、
〔東洋〕二字に作る
- 20 「下」字、〔慶Ⅱ〕〔大東〕〔不〕に作る
- 21 「活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ・杏
Ⅰ・東急・天理」〔無〕に作る
- 22 「人」字下、〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・
弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・杏Ⅰ・東大・東洋・
東急・天理・治要〕〔也〕字有り
- 23 「道蔵」〔佞〕に作る
- 24 「人」字下、〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・杏Ⅰ・
天理〕〔也〕一字、〔書陵・龍門・筑波・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・
東大・東洋〕は「者也」、〔梅沢〕は「也之」二字有り
- 25 「書陵・無窮・足利・斯Ⅱ・治要」〔耶〕に作る
- 26 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・筑波・弘文・梅沢・足
利・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東洋・東急・道蔵・天理・治
要」〔淫〕〔杏Ⅰ〕〔姤〕に作る
- 27 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・筑波・弘文・梅沢・足
利・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東洋・東急・杏Ⅰ・道蔵・天
理・治要」〔不惑乱〕三字無し
- 28 「宋版・世徳」〔之〕字無し
- 29 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・天理」
〔謂〕字に作る
- 30 「宋版・世徳・道蔵」〔與〕に作る、「東急」〔猶〕字下、「如」字
有り
- 31 「身」字下、〔宋版・世徳〕〔同〕字有り
- 32 「梅沢・東急・道蔵」〔也〕字無し
- 33 「無窮」〔慾〕に作る
- 34 「乱煩」〔道蔵〕〔煩亂〕に作る
- 35 「煩」字下、〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・
弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・杏Ⅰ・東急・天理〕
〔也〕字、〔梅沢・東洋〕〔也之〕二字有り

37 36 「慶Ⅱ」「腸」に作る
 38 「於」諸本「抱」に作る
 39 「武内」「隘」に作る、「筑波・慶Ⅰ」字無し
 40 「堅」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・筑波・梅沢」
 41 「龍門・慶Ⅰ・大東・武内・六地・敦Ⅰ」字に作る
 42 「龍門・筑波・慶Ⅰ・大東・武内・東大・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ」
 43 「足利・治要」に作る
 44 「淳」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波」
 45 「也」字、「東洋」は「也之」、「梅沢」は「之也」二字有り
 「言」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ」

11ウ4 無源第四

道沖³而用⁴之

沖中⁴也道⁴匿名⁴藏⁴譽⁴其用⁴在中⁴者⁴也⁵

或不盈⁶

或常⁶也道⁷常⁷滿⁷謙⁷虛⁷不盈⁸

淵⁹兮似⁹萬物⁹之宗⁹

道¹⁰淵¹⁰深¹⁰不可¹⁰知¹⁰也¹¹似¹¹為¹¹萬物¹¹之宗¹²祖¹³

「大東・慶Ⅱ・東大・杏Ⅰ・東急・天理」
 「也」字、「梅沢」は「也之」
 「二字有り」
 47 「龍門・慶Ⅰ・大東・武内・東大・敦Ⅰ・六地・陽Ⅱ」
 「無」に作る
 48 「足利・斯Ⅱ・治要」
 「修」に作る
 49 「循」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・弘文・斯Ⅱ」
 「慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・天理」
 「也」字、「無窮」は「之也」二字有り
 50 「慶Ⅰ・大東・武内・東大・六地」
 「無」に作る
 51 「治」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波」
 「弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・杏Ⅰ・東急・六地」
 「陽Ⅱ・天理」
 「矣」字有り
 52 「治要」
 「惠」に作る
 53 「弘文」
 「原」に誤る、「敦Ⅰ」
 「淳」に作る
 54 「書陵・東洋・宋版・世徳・道藏」
 「也」字無し、「武内」
 「之」に作る、「梅沢・東急」
 「之也」二字に作る

無源第四

道¹ハ沖¹ニシテ¹而¹用¹ル¹之¹

沖¹ハ・中¹也¹。道¹ハ・名¹ヲ匿¹シ譽¹ヲ藏¹平¹シテ其¹ノ用¹・中¹

ニ在¹ル者¹ナリ也¹

或²ニ盈²タ²不²

或³ハ・常³也³。道³ハ・常³ニ謙³虚³ニシテ盈³チ³滿³タ³不³

淵¹タルコト¹兮¹萬物¹ノ之¹宗¹ニ似¹タリ¹

道¹ハ・淵¹深¹ニシテ知¹ル可¹カラ不¹也¹。萬物¹ノ之¹宗¹

挫其銳

銳進也人欲銳精進取功名當挫止之法道不自也

解其紛

紛結恨也當念道無為以解釋

和其光

言雖有獨見之明當如闇昧不當以曜乱人也

同其塵

當與衆庶同垢塵不當自別殊

湛兮似或存

言道湛然安靜故能長存不亡

吾不知其誰之子

老子言我不知道所從生

象帝之先

道似存天帝之前此言道乃先天地生也至今存者以

祖為(ル)ニ似タリ

其ノ銳ヲ挫キ

銳(ハ)・進(也)。人精ヲ銳(ク)メ・進(シ)テ功名ヲ取(ラ)

ント欲セハ・當ニ挫ヘ止(メ)テ之(之)・道ノ自ラセ不(ル)ニ法

ル「當」シ(也)

其ノ「紛」ヲ解キ

紛ハ・結恨(也)。當ニ道ノ無為ヲ念(ヒ)テ以テ解釋(ク)「當」シ

其ノ光ヲ和ケ

言ハ獨見(ノ)之(之)明有(リ)ト雖(モ)・當ニ闇昧ノ如(ク)ナ

ル「當」シ・當ニ以テ人ヲ曜乱ス「當」(カラ)不(也)

其ノ塵ニ同ス

當ニ衆庶與垢塵ヲ同(シ)クス「當」シ・當ニ自(ラ)別(入)ニ

殊ナル「當」(カラ)不

湛タルコト(兮)・或ニ存セルニ似(タリ)

言ハ道湛然トシテ安靜ナリ・故ニ能(ク)長存シテ亡セ不

吾其ノ誰カ(之)子ト云コトヲ知(ラ)不

老子ノ言・我道ノ從テ生(ル)所ヲ知(ラ)不

帝ノ(之)先ニ象ル

道ハ・天帝ノ(之)前ニ存セルニ似(タリ)・此ハ言ハ道ハ乃

能安静湛然不勞煩欲使人修身法道⁵⁰

51

校異

- 1 〔武内〕「无」に作る
 2 1 〔書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・杏Ⅰ・東急・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ〕章題無し。〔武内・東大・東洋〕「源」字下「章」字有り。〔慶Ⅰ・大東〕「道冲章第四」に作る。〔筑波・弘文・慶Ⅱ〕「道冲章第四」に作る。
 3 〔足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・宋版〕世徳「冲」に作る
 4 〔足利・筑波・弘文・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・宋版〕世徳「者也」。〔宋版・世徳・道蔵〕此の二字無し。〔無窮・東急〕「者」一字無し。〔梅沢〕「者也」三字に作る
 5 〔足利〕「者也」。〔宋版〕「者也」三字に作る
 6 〔足利〕「域」に作る
 7 此の注文未へ移行符
 8 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ〕慶Ⅰ・大東・東大・杏Ⅰ・天理「也」字。〔慶Ⅱ〕「之」字。〔梅沢〕「也」之二字有り
 9 〔宋版〕世徳「乎」に作る
 10 〔陽Ⅰ〕「除」に作る
 11 〔梅沢・東急・敦Ⅰ〕「也」字無し
 12 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ〕慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・天理「之」字無し
 13 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ〕梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・天理「也」字有り
 14 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ〕梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・敦Ⅰ・道蔵・天理「情」に作る

- 16 15 〔宋版〕「上」に作る
 16 15 〔世徳〕「同」に作る。〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ〕梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・道蔵・敦Ⅰ・天理「自見」一字に作る
 17 〔梅沢・敦Ⅰ〕「也」字無し
 18 19 〔敦Ⅰ〕「忿」に作る
 20 〔宋版〕世徳「根」に作る
 21 〔活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ〕梅沢・杏Ⅰ・東急・世徳・道蔵・天理「無」に作る
 22 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ〕梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・天理「之也」二字有り
 23 〔足利〕「之」字無し
 24 25 〔宋版〕世徳「知」に作る
 26 〔宋版〕「擢」字に作る
 27 〔乱〕字下。〔東洋〕「於」字有り
 28 〔敦Ⅰ〕「也」字無し
 29 〔斯Ⅱ〕「同其塵」三字脱
 30 〔足利〕洞「字」に作る（洞右旁見消ち、眉上に「同」字を加筆）
 31 〔足利〕洞「字」に作る（洞右旁見消ち、眉上に「同」字を加筆）
 32 〔道蔵〕「垢塵」二字無し
 33 33 〔別殊〕「道蔵」殊別に作る
 34 〔天理〕は「也」字。東急は「之也」二字有り
 35 〔宋版〕世徳・道蔵「若」に作る
 36 〔宋版〕世徳・道蔵「當」に作る
 37 〔天理〕「能」字無し

〔者〕能〔ク〕安〔静〕湛〔然〕不〔勞〕煩〔七〕不〔ル〕ヲ〔以〕〔テ〕ナリ。
 人ヲノ〔使〕テ身ヲ修〔ム〕ルコト道ニ法ヲ使〔メント〕欲ス

38 「世德」〔忘〕字、〔足利〕〔已〕字に作る
 39 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・東大・杏Ⅰ・東急・天理」〔也〕字、〔梅沢〕〔也之〕二字、〔慶Ⅱ〕〔入〕字有り
 40 「宋版・世德」〔其〕字無し
 41 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・天理」〔也〕字、〔梅沢〕〔也之〕二字、「東急」〔之也〕二字、「道藏」〔之矣〕二字有り
 42 「六地」〔當〕に作る
 43 「似存」〔敦Ⅰ〕〔似在〕、「宋版・世德・道藏」〔自在〕に作る
 44 「弘文・斯Ⅱ」〔者〕字に作る

12ウ5 虚用第五

天地不仁

天地地化不以仁恩任自然也³

以萬物為芻狗⁴

天地生万物人最為貴天地視之如芻草狗畜不責望其報也¹⁰

聖人不仁

聖人愛養万民不以仁恩法天地行自然¹⁵

以百姓為芻狗¹⁶

45 「無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・杏Ⅰ」〔先〕に作る
 46 「東大・東洋」〔此〕字無し
 47 「斯Ⅱ・敦Ⅰ」〔生也〕二字無し
 48 「道藏」〔存〕字無し、「敦Ⅰ・宋版・世德」〔在〕に作る
 49 「慶Ⅱ」〔似〕に作る
 50 「頃」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・杏Ⅰ・天理」〔也〕字有り
 51 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・天理」〔也〕字有り

虚用第五

天地不仁ナリ

天ノ施シ地ノ化スル・仁恩ヲ以テセ不・自然ニ任ス〔也〕

萬物ヲ以テ・芻^ス狗^ト為〔ス〕

天地・万物ヲ生ス。人ヲ最^モ貴シト為・天地視〔ル〕コト〔之〕・芻^キ草^ウ狗^ウ畜〔去〕ノ如〔シ〕。其ノ報^レヲ責^メ望^マ不〔也〕

聖人ハ不仁ナリ

聖人ハ・万^ノ民ヲ愛^シ養^フスルニ・仁恩ヲ以テセ不・天地ニ

法^リテ・自^ラ然^ラ行^フ

百姓ヲ以テ・芻^ト狗^ト為〔ス〕

聖人視百姓如芻草狗畜不責望其禮意^{17 18 19 20 21}

天地之間

天地之間空虛和氣流行故万物自生人能除情欲節^{22 23 24}
滋味清五藏則神明居之也^{25 26 27}

其猶橐籥乎^{28 29}

橐籥中空虛故能有聲氣^{30 31 32 33}

虛而不屈動而愈出

言空虛无有屈竭時^{34 35 36}挫動之益^{37 38 39}出聲氣也⁴⁰

多言數窮⁴¹

多事害神多言害身口開舌舉必有禍患^{42 43 44}

不如守中

不如守德於中⁴⁵育養精神愛氣希言^{43 44}

聖人ハ・百姓ヲ視(ル)コト・芻草狗畜(去)ノ如シ・其ノ
礼意ヲ責メ望マ不

天¹地ノ(之)間ハ

天¹地ノ(之)間ハ・空¹虚ニシテ・和氣流¹行ス。故ニ万物
自(ツカラ)生¹ス。人能(ク)情¹欲ヲ除キ・滋¹味(ヲ)節シ・
五¹藏ヲ清ストキハ・[則]神明居リ(之也)

其(レ)橐¹籥¹ノ猶(シ)乎^カ

橐¹籥¹ハ・中¹空¹虚ナリ。故ニ能(ク)声¹氣有(リ)

虚¹ニシテ(而)屈¹セ不¹・動(イ)テ(而)愈¹出(去)ツ

言ハ空¹虚ニシテ屈¹キ竭(ク)ル時有(ル)コト无(シ)。挫¹動

ノ(之)・益¹声¹氣ヲ出(去)ス(也)

多¹言ハ數(去)窮¹ス

事多(キ)トキハ神ヲ害ス・言多(キ)トキハ身ヲ害ス(・)口¹

開(キ)舌¹舉(ク)レハ・必ス禍患有(リ)

中ヲ守ルニハ如(カ)不¹

德ヲ(於)中ニ守(リ)テ・精神ヲ育養¹ノ・氣ヲ愛シ言(ヲ)希

ニスルニハ如(カ)不

校異

1 一書陵・龍門・無窮・足利・斯II・杏I・東急・六地・陽II・敦

1 章題無し、〔武内・東大・東洋〕「用」字下〔章〕字有り、〔筑波・弘文・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ〕「天地章第五」に作る
 2 〔慶Ⅱ〕「住」に作る
 3 〔道蔵〕「也」字無し
 4 活Ⅰ・大東・慶Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・慶Ⅱ・杏Ⅰ・六地・敦Ⅰ・道蔵・天理・治要・〔莠〕に作る
 5 〔治要〕「人最爲貴天地」の六字無し
 6 〔無窮・斯Ⅱ〕「之」字無し
 7 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・杏Ⅰ・敦Ⅰ・道蔵・天理・治要・〔莠〕字に作る
 8 〔慶Ⅱ〕「中」に作る
 9 〔其〕字下、〔弘文〕「於」字有り
 10 〔未版〕「貴」に作る
 11 〔敦Ⅰ・道蔵・治要〕「也」字無し、〔梅沢〕「也之」二字に作る
 12 〔筑波・梅沢〕「物」に作る
 13 〔地〕字下、東急・道蔵「之」字有り
 14 〔東急〕「行」字無し
 15 〔足利・梅沢・慶Ⅰ・大東・杏Ⅰ・無窮・東急〕「也」一字、〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・天理〕「者也」二字有り
 16 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・杏Ⅰ・六地・敦Ⅰ・道蔵・治要・〔莠〕字に作る
 17 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・杏Ⅰ・敦Ⅰ・道蔵・治要・〔莠〕字に作る
 18 〔望〕字下、〔道蔵〕「於」字有り
 19 〔莠〕字下、〔道蔵〕「於」字有り
 20 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・杏Ⅰ・東急・天理「也」一字、東洋「者也」、〔梅沢〕「也之」二字有り

22 〔弘文〕「自」無し
 23 〔道蔵・龍門・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・杏Ⅰ〕「慾」に作る
 24 〔道蔵〕「却」に作る
 25 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・道蔵・天理「臟」に作る
 26 〔道蔵〕「之」字無し
 27 東洋「矣」に作る、〔龍門・慶Ⅰ・大東・武内・敦Ⅰ〕「也」字無し
 28 〔敦Ⅰ〕「囊」に作る
 29 〔無窮〕「兮」に作る
 30 〔空虚〕、「武内・東大・東洋」〔虚空〕に作る
 31 〔虚〕字下、〔斯Ⅱ〕「无虚」二字有り
 32 〔宋版〕「人」に作る、「世徳」〔又〕に作る
 33 〔氣〕字下、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・杏Ⅰ・東急・天理「也」字、〔梅沢・東洋〕「也之」二字有り
 34 活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・無窮・弘文・梅沢・大東・杏Ⅰ・東急・世徳・道蔵・天理「無」に作る
 35 〔道蔵〕「屈」字無し
 36 〔時〕字、〔慶Ⅰ・大東〕下の「益」字下に有り
 37 〔筑波・瑤〕字に誤る
 38 〔揺動〕、「宋版・世徳・道蔵」〔動揺〕に作る
 39 〔東急〕「之」字無し
 40 〔梅沢〕「之」字に作る、〔敦Ⅰ・道蔵〕「也」字無し
 41 〔龍門〕「夢」字に誤る
 42 〔龍門〕「聞」字に誤る
 43 活Ⅱ「忠」字に誤る
 44 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・天理「也」字、〔梅沢〕「也之」二字有り
 45 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・杏Ⅰ・東急・天理「也」字、〔東洋〕「也之」二字有り

谷神不死²

谷³養⁴也人能養神則不死神謂五藏之神也肝藏魂肺藏魄心藏神腎藏精脾藏志五藏盡傷則五神去矣⁵

是謂玄牝

言不死之道在於玄牝玄天也於人為臬牝地也於人為口天食人以五氣從臬入藏於心五氣清微為精神聰明音声五性其鬼曰臬臬者雄也主出入人臬与天通故臬為玄也地食人以五味從口入藏於胃五性濁溼為形骸骨肉血脉六情其鬼曰臬く者雌也主出入於人口与地通故口為牝也³⁵

玄牝之門是謂天地之根⁴⁰

成象第六

神ヲ谷フトキハ死セ不^{ヤシナ}

谷ハ・養(也)。人能(ク)神ヲ養(フ)〔^{コフ}〕キハ・(則)死セ不・神ト云ハ五藏ノ(之)神ヲ謂(フ)(也)。肝ハ・魂ヲ藏(ス)・肺ハ(・)魄ヲ藏(メ)・心ハ・神ヲ藏(メ)・腎ハ・精ヲ藏(メ)・脾ハ・志ヲ藏(ム)。五藏盡(キ)傷ル、トキハ・(則)五神去ル(矣)是ヲ玄牝ト謂(フ)

是謂玄牝

言ハ不死ノ(之)道・(於)玄牝ニ在(リ)・玄ハ・天ナリ(也)。人ニ於テハ鼻ト為(ス)・牝ハ・地ナリ(也)。人ニ於テハ口ト為(ス)・天人ヲ食(ク)ウニ五氣ヲ以(テ)ス・鼻從(リ)入レテ(於)心ニ藏ム(・)五氣清微ニシテ・精神聰明音声五性ト為(ル)・其ノ鬼ヲ魂ト曰(フ)・魂ハ(者)・雄ナリ(也)。人ノ鼻ヨリ出(ル)入(ル)天与通スルコトヲ主ル故ニ鼻ヲ玄ト為(ス)(也)。地ハ人ヲ食(ク)ウニ五味ヲ以(テ)ス・口從(リ)入(レ)テ(於)胃ニ藏ム。五性濁溼ニシテ形骸骨肉血脉六情ト為(ル)・其ノ鬼ヲ魄ト曰(フ)・々(魄)ハ(者)・雌ナリ(也)。(於)人ノ口ヨリ出(ル)入(ル)地与通スルコトヲ主ル故ニ口ヲ牝ト為(ス)(也)

玄牝ノ(之)門・是ヲ天地ノ(之)根ト謂(フ)

根元也言鼻口之門是乃天地之元氣所從往來也⁴¹

綿く若存⁴⁵

鼻口呼⁴⁶喘息當綿く微妙若可存復若无有也⁴⁷

用之不動

用氣當寬舒不當急疾勤勞也⁵⁰

校異

- 1 書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・杏Ⅰ・東急・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ・章題無し、「武内・東大・東洋」¹「象」字下「章」字有り、「慶Ⅰ・大東」²「谷神章第六」に作る「筑波・弘文・慶Ⅱ」³「谷神不死章第六」に作る
- 2 書陵「浴」に作る
- 3 書陵「神」に作る
- 4 「死」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・宋版・世徳・天理」⁴「也」字有り
- 5 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・天理」⁵「臍」に作る
- 6 「東大」⁶「魂」に作る、「道蔵」⁷「之」字無し
- 7 「東大」⁸「魂」に作る、「道蔵」⁹「之」字無し
- 8 「敦Ⅰ」¹⁰「也」字無し
- 9 「神」字下、「足利」¹¹「賢」字有り、但、見消ちを付す
- 10 「道蔵」¹²「脾」に作る
- 11 「道蔵」¹³「意」に作る
- 12 「道蔵」¹⁴「腎」に作る
- 13 「志」字、「道蔵」¹⁵「精興志」三字に作る

根ハ・元(也)。言ハ鼻¹口ノ(之)門・是(レ)乃(チ)天地ノ(之)元氣ノ・從テ往¹來スル所ナリ(也)

綿¹々トシテ存スルカ若(シ)

鼻口・呼^内喘息スルコト當ニ綿¹々トシテ微妙ナル「當」シ。存ス可(キ)カ若ク・復(去)有(ル)コト无(キ)カ若シ(也)用ルコト(之)勤メ不

氣ヲ用(ル)コト當ニ寬舒ナル「當」シ・當ニ急疾勤勞ス「當」カラ不(也)

- 14 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・天理」¹⁴「臍」に作る
- 15 「道蔵」¹⁵「矣」字無し、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・筑波・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・天理」¹⁶「也」字に作る、「足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東」¹⁷「也矣」二字に作る
- 16 「宋版・世徳」¹⁸「有」に作る
- 17 「足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・杏Ⅰ」¹⁹「於」字無し
- 18 「慶Ⅰ」²⁰「世」字に誤る
- 19 「活Ⅱ」²¹「徒」に作る
- 20 「東急」²²「微」に作る
- 21 「敦Ⅰ」²³「魂」に作る、「世徳」²⁴「兆」に作る
- 22 「弘文」²⁵「者」字無し
- 23 「人」字上、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・杏Ⅰ・天理」²⁶「於」字有り
- 24 「天」字下、「道蔵」²⁷「道」字有り
- 25 「梅沢」²⁸「入」字無し
- 26 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・筑波・東大・天理」²⁹「謂」に作る
- 27 「活Ⅱ・無窮・梅沢・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ・道蔵・天」³⁰

理「味」に作る
 28 「濁」字下、梅沢「乱」字有り
 29 「活Ⅰ・活Ⅱ・楊Ⅰ・弘文・梅沢・東大・東急・宋版・道藏・敦Ⅰ・天理」辱」字に作る
 30 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・天理」體」に作る
 31 「敦Ⅰ」穴」に作る、「筑波」「内」字に誤る
 32 「世徳」魂」に作る
 33 「道藏」者」字無し
 34 「敦Ⅰ」東急・道藏」主」字無し
 35 「敦Ⅰ」於」字無し
 36 「宋版・世徳・道藏」人」字無し
 37 「地」字上、「宋版・世徳」天」字有り
 38 「世徳」日」に作る
 39 「敦Ⅰ・道藏」也」字無し、「梅沢」也之」二字に作る
 40 「宋版・世徳」之」字無し
 41 「慶Ⅱ」天」に作る
 42 「是乃」道藏」乃是」に作る

43 「天」字上、「杏Ⅰ・宋版・世徳・道藏」通」字有り
 44 「宋版・世徳・敦Ⅰ・道藏」也」字無し
 45 「若」字上、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・六地・天理」平」字有り
 46 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・道藏」天理」吸」字に作る
 47 「若」字下、「道藏」可」字有り
 48 「活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・無窮・筑波・弘文・梅沢・杏Ⅰ・東急・世徳」道藏」天理」無」に作る
 49 「宋版・世徳・敦Ⅰ・道藏」也」字無し、「梅沢」也之」に作る
 50 「世徳」常」に作る
 51 「當」字下、「道藏」爲」字有り
 52 「宋版」勲」字に作る
 53 「武内・敦Ⅰ・道藏」也」字無し

15才1 輻光第七

天長地久

説天地長生久壽以喻教人也

天地所以能長且久者以其不自生

天地所以獨長且久者以其安靜施不求報不如人居
 処汲々求自饒之利奪人以自與

輻光第七

天ハ長ク地ハ久シ

天地ノ長シ生久シ壽ナルコトヲ説去イテ以テ人ニ喻シ教フ也

天地ノ能ク長クシテ且久クシキ所以ハ者其ノ自ラ生セ不ルヲ以テナリ

天地ノ獨リ長クシテ且久クシキ所以ハ者其ノ安靜ニシテ施シテ報ラ求メ不ルヲ以テナリ人ノ居処汲々

故能長生¹⁴

以其不求生故能長生不終也¹⁵

是以聖人後其身

先人而後己也¹⁶

而身先

天下敬之先以為官長^{18 19 20 21}

外其身

薄己而厚人也^{22 23}

而身存

百姓愛之如父母神明祐之若赤子故身常存^{24 25 26}

非以其無私耶^{27 28 29 30}

聖人為人所愛神明所祐非以其公正无私所致乎^{31 32 33 34 35}

故能成其私

人所以為私者欲以厚己也聖人无私而已自厚故能^{36 37 38 39 40 41 42}

ニシテ・自(ラ)饒スルニ(之)利ヲ求メテ・人ヲ奪(ヒ)テ以テ自(ラ)與(去)フルカ如(ク)ニハ不ス

故ニ能(ク)長(生)ナリ

其ノ生ヲ求メ不(ル)ヲ以(テ)ノ故ニ・能(ク)長生ニシテ終

(ハ)不(也)

是以テ聖(人)ハ・其ノ身ヲ後(去)ニス

人ヲ先(去)ニシテ(而)己ヲ後ニス(也)

而テ身先ナリ

天(下)敬シテ(之)・先(シテ)以テ官(長)上(ト)為(ル)

其ノ身ヲ外ニシテ

己ヲ薄(ク)シテ(而)人ヲ厚クス(也)

而テ身存ス

百(姓)・愛スルコト(之)・父(母)ノ如ク・神明ノ祐クルコト

(之)・赤(子)ノ若(シ)・故ニ身常ニ(存)ス

其ノ私無(キ)ヲ以(テ)スルニ非ス耶^ヤ

聖(人)ハ・人ノ為(去)ニ愛セ所レ。神明ニ祐ケ所レ・以テ其

ノ公(正)ニシテ・私(无)カ致ス所ニ非(ス)乎^ヤ

故ニ能(ク)其ノ私ヲ成ス

人私ヲ為(ス)所(以)ハ(者)・以テ己ヲ厚(ク)セマク欲(シ)テ

成其私也⁴³

ナリ〔也〕。聖人ハ・私无〔ク〕シテ・〔而〕己レ自〔ツカラ〕厚シ。故ニ能〔ク〕其ノ私ヲ成ス〔也〕

校異

- 1 〔書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ・章題無し、〔武内・東大・東洋〕「象」字下〔章〕字有り、〔慶Ⅰ・大東〕「天長章第七」に作る、〔筑波・弘文・慶Ⅱ〕「天長地久章第七」に作る
- 2 Ⅱ・活Ⅱ・活Ⅰ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯に作る
- 3 〔諭教〕、〔道蔵〕「教諭」に作る
- 4 〔筑波・敦Ⅰ〕「也」字無し
- 5 〔獨〕字下、〔道蔵〕「能」字有り
- 6 〔龍門・慶Ⅱ・武内・東大〕「其」字無し
- 7 〔安靜〕下、〔道蔵〕「自然」二字有り
- 8 〔宋版〕「榮」に、〔世徳〕「責」字に作る
- 9 〔大東〕「神」に作る
- 10 〔世徳〕「私」字に作る
- 11 〔自與〕、〔東急〕「與自」に作る
- 12 〔活Ⅱ〕「與」字に誤る
- 13 〔活Ⅰ・活Ⅱ〕無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・大東・東急・天理〔也〕字、〔陽Ⅰ・書陵・龍門・筑波・慶Ⅰ・慶Ⅱ・武内・東大・東洋〕「之也」二字、〔梅沢〕「也之」二字、〔道蔵〕「矣」字有り
- 14 〔弘文〕「自」に作る
- 15 〔龍門・敦Ⅰ〕「也」字無し
- 16 〔己也〕の間、〔宋版〕「者」字有り
- 17 〔敦Ⅰ・道蔵〕「也」字無し
- 18 〔梅沢〕「地」に作る
- 19 〔筑波・武内〕「欲」に作る
- 20 〔宋版〕世徳・道蔵〔官〕字無し
- 21 〔活Ⅰ・活Ⅱ〕陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理

- 〔也〕字有り
- 22 〔弘文〕「原」に誤る
- 23 〔敦Ⅰ・道蔵〕「也」字無し
- 24 〔神明〕の上、〔道蔵〕「敬之如」三字有り
- 25 〔無窮〕「之」字無し
- 26 Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・道蔵・天理〔也〕字有り
- 27 〔道蔵〕「非」字無し
- 28 〔梅沢・陽Ⅱ〕「其」字無し
- 29 〔陽Ⅰ・慶Ⅰ〕「慶Ⅰ・大東・武内・東大・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ」〔无〕字に作る
- 30 〔道蔵〕「邪」字無し、〔宋版〕世徳・陽Ⅰ・六地〔邪〕字に作る
- 31 〔梅沢〕「非」字無く、下の「所致」句上に「不」字有り
- 32 〔活Ⅰ・活Ⅱ〕書陵・無窮・筑波・弘文・梅沢・東急・宋版・世徳・道蔵・天理〔無〕字に作る
- 33 〔大東〕「双」に作る
- 34 〔東急〕「致」字無し
- 35 〔東急〕「耳」に作る
- 36 〔宋版〕世徳・敦Ⅰ・道蔵〔所〕字無し
- 37 〔道蔵〕「爲」字無し
- 38 〔筑波〕「和」字に誤る
- 39 〔弘文〕「原」に誤る
- 40 〔活Ⅰ・活Ⅱ〕書陵・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・東急・世徳・道蔵・天理〔無〕字に作る
- 41 〔慶Ⅱ〕「耳」に誤る
- 42 〔弘文〕「原」に作る
- 43 〔敦Ⅰ〕「也」字無し、〔筑波〕「者也」二字、〔慶Ⅱ〕「者也矣」、〔梅沢〕「也之矣」の三字に作る

16才1 易性第八¹

上善若水²

上善之人如水之性^{3 4}

水善利萬物

水在天為霧露在地為泉源也^{5 6 7 8 9}

而不爭處衆人之所惡¹⁰

衆人惡卑濕垢濁水獨靜流居之也^{11 12}

故幾於道¹³

水性幾与道同^{14 15 16}

居善地

水性善喜於地在草木之上則流而下有似牝動而下^{17 18 19 20 21 22}

人也²³

心善淵²⁴

水深空虛淵深清明^{25 26}

與善仁²⁷

万物得水以生与虚不与盈也²⁸

易性第八

上善ハ水ノ若シ

上善ノ〔之〕人ハ・水ノ〔之〕性ノ如シ

水ノ善ハ・萬物ヲ利ス

水・天ニ在リテハ霧露ト為ル。地ニ在リテハ泉源ト

為ル也

而テ争ハ不シテ・衆人ノ〔之〕惡ム所ニ處ル

衆人ハ・卑濕垢濁ヲ惡ヘ去ム・水獨リ静カニ流レテ・

居ル也

故ニ〔於〕道ニ幾ヘ平シ

水ノ性・幾道与同シ

居ルコトハ地ヲ善トス

水ノ性・善ク〔於〕地ヲ喜ム・草木ノ〔之〕上ニ在リテハ・

〔則〕流レテ〔而〕下ヘ去ル。牝ノ動イテ〔而〕人ニ下ヘ去ル

ニ似タルコト有リ也

心ハ淵ヲ善トス

水深キトキハ空虚ニシテ淵深清明

與フルコトハ仁ヲ善トス

万物・水ヲ得テ以テ生ス・虚ニ与ヘテ・盈ルニ与ヘ不也

言善信

水内影照形不失其情也²⁹³⁰³¹

正善治³²

无有不洗清且平也³³³⁴³⁵

事善能

能方能圓曲直隨形³⁶³⁷³⁸

動善時

夏散冬凝應期而動不失天時³⁹⁴⁰⁴¹⁴²⁴³⁴⁴

夫唯不爭

壅之則止沢之則流聽從人也⁴⁵⁴⁶⁴⁷

故無尤⁴⁸⁴⁹

水性如是故天下无有怨尤水者也⁵⁰⁵¹

言ハ信ヲ善トス

水・影ヲ内ニシテ形ヲ照(ラ)ス・其ノ情ヲ失ハ不(也)

正ハ治ヲ善トス

洗ヒ清メテ且平ナラ不ト云コト有(ル)コト无(シ)(也)

事ハ能ヲ善トス

能ク方能ク圓ニシテ・曲直形ニ隨フ

動(ク)コトハ時ヲ善トス

夏ハ散シ冬ハ凝ル・期ニ應ヘ去シテ(而)動ク・天ノ時ヲ

失ハ不

夫ヘ至(レ)唯争ハ不

壅クトキハ(之則)止(マル)決ルトキハ(之則)流ル・人ニ聽

シ(從)フ(也)

故ニ尤無(シ)

水ノ性はノ如シ・故ニ天下水ヲ怨ミ尤ムル者ノ有(ル)コト

无(シ)(也)

校異

1 「書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ」章題無し、「武内・東大・東洋」「性」字下「章」字有り、「慶Ⅰ・大東」「上善章第八」に作る、「筑波・弘文・慶Ⅱ」「上善如水章第八」に作る

2 「無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東」「如」に作る

3 「慶Ⅱ」「姓」に誤る

4 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ・梅沢・武内・東大・東洋・東急・天理」「也」字有り

5 「筑波」「露」に作る

- 6 「地」字下、「東大」「而」字有り
- 7 「書陵・龍門」一衆」字に作る
- 8 「道藏」「源」字無し
- 9 「敦Ⅰ・道藏」也」字無し
- 10 「梅沢・武内・東大・東急・陽Ⅱ」又」に作る
- 11 「陽Ⅰ・無窮・梅沢・東急」「争」、書陵・龍門・足利・筑波・斯Ⅱは「彈」、弘文・慶Ⅰ・大東」は「彈」に作る
- 12 「敦Ⅰ」也」字無し、「道藏」「矣」は「彈」に作る
- 13 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・六地・陽Ⅱ・東急・敦Ⅰ・天理」「矣」字有り
- 14 「梅沢」「水性」二字無し
- 15 「幾」字下、「慶Ⅰ・大東」「子」字有り
- 16 「活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・東急・天理」「也」字有り
- 17 「無窮」「憲」字に作る
- 18 「宋版・世徳」「在」字無し
- 19 「諸本」「即」字に作る
- 20 「慶Ⅱ」「在」字有り
- 21 「似」字下、「諸本」於」字有り
- 22 「而」字下、「無窮」「從」而有り
- 23 「龍門・敦Ⅰ」也」字無し、「筑波・梅沢」「者也」二字に作る
- 24 「心善」「敦Ⅰ」「善心」に作る
- 25 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・世徳・天理」は「性」に「東急・敦Ⅰ」は「心」に作る
- 26 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・天理」は「也」二字有る
- 27 「道藏」「人」に作る
- 28 「敦Ⅰ」「也」字無し
- 29 「影」字下、「筑波」々」字有り
- 30 「情」字上、「敦Ⅰ」「物」字有り

- 31 「敦Ⅰ・道藏」也」字無し
- 32 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・六地・陽Ⅱ・道藏・天理」「政」に作る
- 33 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・東急・世徳・道藏・天理」「無」字に作る
- 34 「足利」「流」字に作る
- 35 「龍門・敦Ⅰ」也」字無し
- 36 「弘文」「能」字無し
- 37 「無窮・足利・弘文・東急」「員」字に作る
- 38 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・天理」は「也」字、「梅沢」は「之」字有り
- 39 「足利」「斯」字に作る、但、右旁に見消ち、眉上に「期」字を加筆
- 40 「筑波」「上」に作る
- 41 「動」字上、「弘文」「能」字有り
- 42 「不失天時」、「大東」「有怨尤水者」に作り、右旁に見消ち、「不失天時也」五字を挿入
- 43 「敦Ⅰ」「天」字無し
- 44 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅰ・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・道藏・天理」也」字有り
- 45 「陽Ⅰ」「上」字に作る
- 46 「慶Ⅰ・大東」「听」に作る
- 47 「敦Ⅰ」也」字無し
- 48 「龍門・慶Ⅱ・武内・東大・六地・敦Ⅰ」「无」字に作る
- 49 「無窮・足利・筑波・弘文・慶Ⅰ・大東」矣」字有り
- 50 「活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・無窮・足利・梅沢・大東・杏Ⅰ・東急・世徳・道藏・天理」「無」字に作る
- 51 「陽Ⅰ・書陵・龍門・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急」「惡」字に作る

持²而盈之不如其已³

盈滿也⁴已止也⁵持滿必傾⁶不如止也⁵

揣而銳之不可長保

揣⁷治也⁸先揣之後必棄⁹捨¹⁰

金玉滿堂莫之能守

嗜¹¹欲¹²傷¹³神¹⁴財¹⁵多¹⁶累¹⁷身

富貴而驕¹⁸還¹⁹自遺²⁰其咎²¹

夫²²富²³當²⁴賤²⁵貴²⁶當²⁷憐²⁸賤²⁹而反³⁰驕³¹恣³²必³³被³⁴禍³⁵患³⁶也

功成名遂身退天之道

言人所為³⁷功成³⁸事立³⁹名迹⁴⁰稱⁴¹遂⁴²不退⁴³身避⁴⁴位則⁴⁵遇⁴⁶於⁴⁷害⁴⁸
此乃天之常道也³⁷譬如日中則移³⁸月滿則虧³⁹物盛則衰⁴⁰
樂極則哀也⁴¹

樂極則哀也

持¹シテ〔而〕盈²テ³ルハ〔之〕・其ノ「已ムニハ如カ⁴カ⁵不⁶

盈ハ・滿〔也〕。已ハ・止〔也〕。滿ヲ持ツトキハ必ス傾ク・止

（ム）ニハ如（カ）不〔也〕

揣⁷メテ〔而〕銳⁸クスルハ〔之〕・長ク保ツ可（カラ）不

揣ハ・治〔也〕。先（ス）揣メテ〔之〕・後ニ必ス棄（テ）捐ツ

金玉堂ニ滿（ツレハ）・〔之〕能ク守ルコト莫（シ）

嗜欲ハ神ヲ傷リ・財多（キ）トキハ身ヲ累（去）ハス

富貴ニシテ〔而〕驕ルトキハ還（テ）自（ラ）其ノ「咎ヲ遺（去）ス

夫（平）レ富ハ當ニ貧（シ）キヲ賑フ「當シ・貴ハ當ニ賤（シ）

キヲ憐フ「當シ（。）而ヲ反（リ）テ驕リ恣ナルトキハ・必ス

禍患ヲ被フル〔也〕

功成リ名遂ケテ身退クハ・天ノ〔之〕道ナリ

言ハ人ノ為（ス）所。功成（リ）・事立テ名迹稱ヒ遂ケテ・
身ヲ退ケ位ヲ避ラ不ルハ・〔則〕〔於〕害ニ遇フ。此ハ乃（チ）天

ノ〔之〕常ノ道ナリ〔也〕。譬ヘハ日中ニシテ〔則〕移リ・月

滿（チ）テハ〔則〕虧ケ・物盛ニシテハ〔則〕衰ヘ・樂（入）極マ

リテ〔則〕哀フカ如シ〔也〕

校異

- 17 書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・杏Ⅰ・東急・六地・陽Ⅱ・敦
- 1 Ⅰ・章題無し、〔武内・東大・東洋〕「夷」字下〔章〕字有り、〔慶
- Ⅰ・大東〕「特而盈之章第九」に作る、筑波〔「特而盈之章第九」、弘
- 文・慶Ⅱ〕「特而盈之章第九」に作る
- 2 〔活Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・慶Ⅰ・大東・武内・東洋〕杏
- Ⅰ・六地〕「特」字に作る、〔活Ⅱ・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ〕は「特」に
- 作る
- 3 〔書陵〕「也」字に作る
- 4 〔活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・龍門・足利・筑波・慶Ⅰ・大東・武内・東
- 洋〕杏Ⅰ〕「特」字に作る、〔弘文・斯Ⅱ・慶Ⅱ〕は「特」に作る
- 5 〔龍門〕「也」字無し、〔東洋〕「者也」、〔敦Ⅰ〕「之也」に作る
- 6 〔敦Ⅰ〕「檢」に作る
- 7 〔筑波〕「搦」字無し、〔慶Ⅰ〕「搦」に作る
- 8 〔筑波〕「指」字に作る
- 9 〔筑波〕「指」字に、〔梅沢・東洋〕「損」字に誤る
- 10 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・慶
- Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大〕杏Ⅰ・東急・天理〕「也」字有り
- 11 〔道藏〕「著」に作る
- 12 〔無窮・筑波・世徳〕「慾」字に作る
- 13 〔足利〕「賤」字に誤る、但、左旁に見消ち、眉上に「財」字を加
- 筆
- 14 〔多〕字下、〔東洋〕「則」字有り
- 15 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・慶
- Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東洋〕東大〕杏Ⅰ・東急・天理〕「也」一
- 字、〔梅沢〕「也」之、二字有り
- 16 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・弘文・梅沢・慶Ⅱ・東大〕東
- 洋〕東急〕六地〕陽Ⅱ〕宋版〕世徳〕敦Ⅰ〕道藏〕天理〕「還」字

17ウ6 能爲第十¹

載營魄

無し

- 17 〔治要〕「其」字無し
- 18 〔宋版〕「大」字に誤る
- 19 〔活Ⅱ〕「貪」字に誤る
- 20 〔敦Ⅰ〕「當賑貧貴」四字無し
- 21 〔慶Ⅰ〕大東〕敦Ⅰ〕道藏〕「矜」字に作る
- 22 〔弘文〕「財」に誤る
- 23 〔道藏〕「害」に作る
- 24 〔敦Ⅰ〕治要〕道藏〕「也」字無し、〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・
- 龍門〕筑波〕慶Ⅱ〕武内〕東大〕天理〕「者也」二字に作る、〔東洋
- 〕「者」に作り地脚に「也」を加筆
- 25 〔治要〕「也」字有り
- 26 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
- Ⅱ・慶Ⅰ〕大東〕慶Ⅱ〕杏Ⅰ〕敦Ⅰ〕道藏〕天理〕「跡」字に作る
- 27 〔弘文〕「逐」に作る
- 28 〔書陵・龍門〕「辟」二字無し
- 29 〔敦Ⅰ〕治要〕道藏〕「也」字無し
- 30 〔龍門〕大東〕「辟」字に作る
- 31 〔道藏〕「如」字無し
- 32 〔筑波〕「因」字に誤る
- 33 〔月滿〕「梅沢〕「滿月」に作る
- 34 〔慶Ⅰ〕「衰」字に作る
- 35 〔活Ⅰ・活Ⅱ・天理〕「衰」字に作る
- 36 〔龍門〕宋版〕世徳〕敦Ⅰ〕道藏〕治要〕「也」字無し、〔梅沢
- 〕「也」、〔東洋〕「者也」二字に作る
- 37 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
- Ⅱ・慶Ⅰ〕大東〕慶Ⅱ〕杏Ⅰ〕敦Ⅰ〕道藏〕天理〕「跡」字に作る
- 38 〔道藏〕「著」に作る

能爲第十^テ 營魄二載ル

營²現³也⁴人載⁵魂魄之上⁶得以⁷生當⁸愛⁹養¹⁰之喜¹¹怒¹²亡¹³魂卒¹⁴
驚¹⁵傷¹⁶魄¹⁷現¹⁸在¹⁹肝魄²⁰在²¹肺美²²酒²³甘²⁴肴²⁵腐²⁶人²⁷肝²⁸肺²⁹故³⁰魂³¹靜³²志³³
道³⁴不³⁵亂³⁶魄³⁷安³⁸修³⁹德⁴⁰延⁴¹年⁴²也⁴³

抱一能無離乎¹⁷

言人能抱一使不離於身則長存一者道始所生太和²¹
之精氣也故曰一布名於天下天得一以清地得一以²⁷
寧侯王得一以為正平入為心出為行布施為德惣名²⁹
為一一之為言至一无二也³⁴

專氣致柔

專³⁵精³⁶氣³⁷使³⁸不³⁹亂⁴⁰則⁴¹形⁴²骸⁴³能⁴⁴應⁴⁵之⁴⁶而⁴⁷柔⁴⁸順⁴⁹

能如嬰兒乎⁴²

能⁴⁰如⁴¹嬰⁴²兒⁴³內⁴⁴无⁴⁵思⁴⁶慮⁴⁷外⁴⁸无⁴⁹政⁵⁰事⁵¹則⁵²精⁵³神⁵⁴不⁵⁵去⁵⁶也⁵⁷

營ハ・魂(也)。人魂¹魄ノ(之)上ニ載(リ)テ・以テ生ルコト
ヲ得(・)當ニ愛¹養¹ス「當シ(之)。(・)怒リヲ喜ムトキハ魂¹
(ヲ)亡^{ウツチ}ウ(・)卒^{シラカ}ニ驚クトキハ魄(ヲ)傷ル(・)魂ハ肝ニ在(リ)・
魄ハ肺ニ在(ル)。美¹酒¹甘¹肴¹ハ人ノ肝¹肺¹ヲ腐^クス。故ニ魂¹靜¹
(カ)ナルトキハ(・)道ニ志シテ乱レ不¹。魄¹安キトキハ・德¹
ヲ修メテ年ヲ延^フ(也)

一ヲ抱^テリテ・能^ク離^ル去^ルコト無^キ乎¹⁷

言ハ人能(ク)一ヲ抱(リ)テ・(於)身ヲ離(去)レ不(ラ)使(ム)
ルトキハ・(則)長ク存ス。一ハ(者)・道ノ始メテ生(ル)所・
太和ノ(之)精氣ナリ(也)。故ニ一ト曰(フ)。名ヲ(於)天¹
下ニ布(キ)・天一ヲ得テ以テ清ク・地一ヲ得テ以テ寧ク・天¹
王一ヲ得テ・以テ正^ス平ヲ為ス。入^ル心ト為(シ)・出^ル行(去)¹
ト為(シ)・布(キ)施(ス)ヲ德ト為(ス)。惣^スハ名(ツケ)テ一
(ト)為(シ)・一カ(之)言為(ル)コト至^ス一ニシテ二三(シ)(也)
氣ヲ專(ラ)ニシ柔ヲ致シテ

精氣ヲ專(ラ)ニシテ乱(レ)不(ラ)使(ム)ルトキハ・(則)形¹
骸能(ク)應(去)シテ(之)・(而)柔順ナリ

能(ク)嬰¹兒¹ノ如シ乎⁴²

能(ク)嬰¹兒¹ノ如(ク)ニシテ内ニ思慮无(ク)・外ニ政事无

滌除玄覽

當洗其心使潔清也。心居玄冥之處。覽知萬事故。謂之

玄覽也。

能無疵乎。

不淫邪也。淨能无疵病乎。

愛民治國

治身者愛氣。則身全。治國者愛民。則國安。

能無知乎。

治身者呼吸精氣。无令耳聞也。治國者布德施惠。无令

下知也。

天門開闔

天門謂北極紫微宮。開闔謂終始五際也。治身。天門謂

鼻孔。開闔謂喘息闔謂呼吸也。

能為雌乎。

(キ)トキハ・(則)精神去(ラ)不(也)

玄一覽ヲ滌除シテ

當ニ其ノ心ヲ洗(ヒ)テ潔清ナラ使ム「當」シ(也)。心玄冥

ノ(之)処ニ居テ万事ヲ覽知ス。故ニ之ヲ玄覽ト謂フ(也)

能(ク)疵無(キ)乎

淫邪ナラ不(也)。淨シテ能(ク)疵病无(キ)乎

民ヲ愛シ國ヲ治メテ

身ヲ治(ム)ル者・氣ヲ愛スルトキハ・(則)身全シ。國ヲ治

(ム)ル者・民ヲ愛スルトキハ・(則)國安シ

能(ク)知(シ)シムルコト無(キ)乎

身ヲ治(ム)ル者ハ・精氣ヲ呼吸シテ耳ヲ令テ聞(カ)「令」

(ム)ルコト无(シ)(也)。國ヲ治(ム)ル者ハ・德ヲ布(キ)惠ヲ

施シテ下ヲ令テ知(ラ)「令」(ム)ルコト无(シ)(也)

天門開闔(ニ)キル(左旁墨点見消カ)

天門ト云ハ・北極紫微宮ヲ謂フ。開闔ト云ハ・終始

五際ヲ謂フ(也)。身ヲ治(ム)ルニ天門ト云ハ・鼻ノ孔

ヲ謂(ヒ)・開クト云ハ喘息ヲ謂フ。闔ト云ハ呼吸ヲ謂

フ(也)

能(ク)雌ヲ為(ス)乎

是謂玄徳

言道行徳玄冥不可得見欲使人如道也¹⁰⁸
¹⁰⁹
¹¹⁰
¹¹¹

校異

- 1 書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・杏Ⅰ・東急・六地・陽Ⅱ・敦
I 一「章題無し」〔武内・東大・東洋〕「爲」字下「章」字有り、慶
I 一「載營章第十」に作る、「大東」〔載營〕に作り章次教無し、「筑
波・弘文・慶Ⅱ」〔載營魄章第十〕に作る
- 2 〔無窮〕「魄」に作る
- 3 〔營魄也〕、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・慶Ⅰ・大東・武内・宋版・世徳・
道蔵」天理「營魄魄魄也」に作る
- 4 書陵・龍門「一人」字無し
- 5 〔當〕字上、梅沢「或」字有り
- 6 無窮・弘文・足利「意」字に作る
- 7 足利「已」字に作る、但、右旁見消ちを付し「亡」字を加筆
- 8 〔肝〕字下、東急「肺」字衍、右旁に見消ち
- 9 筑波「肝」に作る
- 10 筑波「者」字に誤る
- 11 道蔵「傷」に作る
- 12 〔肝肺〕、「足利」肺肝に、「龍門」肝肝に、「宋版」肺肺
に作る
- 13 杏Ⅰ「魄」に作る
- 14 〔修徳〕、「宋版・世徳・道蔵」〔得壽〕に作り、「敦Ⅰ」は「修徳
壽」に作る
- 15 〔梅沢〕「也矣」二字に作り、「敦Ⅰ」長に作る
- 16 東大・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ「无」に作る
- 17 宋版・世徳「乎」字無し
- 18 〔則〕字下、敦Ⅰ「身」字有り
- 19 〔存〕字下、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・
弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・
東急・天理「也」字有り
- 20 〔無窮〕「治」字に作る、「道蔵」〔徳〕に作る

是ヲ玄徳ト謂(フ)

言ハ道ノ徳ヲ行フコト・玄冥ニシテ見(ル)コトヲ得可(カラ)
不・人ヲ使テ道ノ如(ク)ナラ「使」メント欲ス(也)

- 21 〔慶Ⅰ・大東・東洋・宋版〕「大」に作り、「東大」〔天〕に作る
- 22 〔之〕字下、「東急」〔元〕字有り
- 23 敦Ⅰ「烝」字に作る
- 24 敦Ⅰ「也」字無し
- 25 〔布〕字上、「弘文」は「以」字、「道蔵」は「二」字有り
- 26 敦Ⅰ「下」字に作る
- 27 〔慶Ⅱ〕「以」字無し
- 28 弘文「法」字に作る
- 29 〔武内〕「得」字に作る
- 30 〔一之〕、「龍門・書陵」此の二字無し、「足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・
梅沢・東大・東洋」〔之〕一字無し
- 31 宋版・世徳・道蔵「志」字に作る
- 32 〔一〕字下、「道蔵」〔而〕字有り
- 33 活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・杏Ⅰ・東
急・世徳・道蔵・天理「無」字に作る
- 34 敦Ⅰ「也」字無し、「梅沢」〔也之〕、「東急」〔也矣〕二字に作
る
- 35 〔專〕字上、「敦Ⅰ」〔能〕字有り
- 36 〔精〕字上、「宋版・世徳・道蔵」〔守〕字有り
- 37 敦Ⅰ「烝」字に作る
- 38 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・天理「物」に作る
- 39 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・天
理「は」也字、「道蔵」は「矣」字有り
- 40 宋版・世徳・敦Ⅰ「如」字無し
- 41 活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅
沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ・道蔵・六
地・慶Ⅱ・天理「嬰」字に作る
- 42 宋版・世徳「乎」字無し

- 43 「活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ・天理」
 「聖云」字に作る
- 44 「能如櫻兒」(「道蔵」此の四字無し)
- 45 「活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・杏Ⅰ・東急・世徳・道蔵・天理」「無」字に作る
- 46 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・無窮・弘文・梅沢・杏Ⅰ・東急・世徳・道蔵・天理」「無」字に作る
- 47 「敦Ⅰ・道蔵」「也」字に作る
- 48 「敦Ⅰ・道蔵」「也」字無し、「梅沢」「也之」二字に作る
- 49 「宋版」「淨」字に、「世徳」「靜」字に作る
- 50 「敦Ⅰ」「也」字無し
- 51 「武内」「之」字無し
- 52 「敦Ⅰ・道蔵」「也」字無し
- 53 「能無」「東大」「无能」に作る
- 54 「龍門・慶Ⅱ・武内・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ」「无」字に作る
- 55 「宋版・世徳」「乎」字無し
- 56 「無窮・足利」「耶」字に作る
- 57 「淨能无疵病乎」「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東洋・杏Ⅰ・東急・敦Ⅰ・道蔵・天理」には此の六字無し
- 58 「安」「字下、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・天理」「也」字有り
- 59 「龍門・慶Ⅰ・慶Ⅱ・武内・東大・六地・敦Ⅰ」「无」字に作る
- 60 「道蔵」「爲」字に作る
- 61 「宋版・世徳」「乎」字無し
- 62 「敦Ⅰ」「者」字無し
- 63 「活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・無窮・筑波・弘文・杏Ⅰ・東急・世徳・道蔵・天理」「無」に作る
- 64 「敦Ⅰ・道蔵」「也」字無し
- 65 「布徳施惠」(「道蔵」「布施徳惠」、「宋版」「世徳」、「布施惠徳」に作る)
- 66 「活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・無窮・筑波・弘文・梅沢・大東・杏Ⅰ・東急・世徳・道蔵・天理」「無」に作る
- 67 「敦Ⅰ・道蔵」「也」字無し
- 68 「天門」二字、「敦Ⅰ」は無し
-
- 70 「道蔵」「謂」字無し
- 71 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・杏Ⅰ・東急・敦Ⅰ・天理」「微」字無し
- 72 「道蔵」「謂」字に作る
- 73 「弘文」「無」字無し
- 74 「敦Ⅰ・敦Ⅱ」「也」字無し
- 75 「東急」「於」字に作る
- 76 「活Ⅰ」二字、「活Ⅱ・活Ⅲ・無窮・慶Ⅰ・大東・天理」無し
- 77 「天」字上、「道蔵」「之」字有り
- 78 「弘文」「吼」字に作る
- 79 「息」「字下、道蔵」「也」字有り
- 80 「敦Ⅰ・東急」「也」字無し
- 81 「宋版・世徳・道蔵」「無」字に作る
- 82 「變」字上、「無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東」「當」字有り、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・筑波・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・天理」は「當如」二字有り
- 83 「道蔵」「和」字無し
- 84 「龍門」「唱」字に作る
- 85 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・道蔵・天理」「也」字有り
- 86 「明」字上、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ・道蔵・天理」「道」字、「宋版・世徳」「達」字有り
- 87 「道蔵」「白」字無し
- 88 「弘文」「听」字に作る
- 89 「之於」「道蔵」此の二字無し、「敦Ⅰ」「於」一字無し
- 90 「弘文」「煖」字に作る
- 91 「敦Ⅰ」「也」字無し、「道蔵」「矣」字に作る
- 92 「六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ」「无」字に作る
- 93 「宋版・世徳」「乎」字無し、「無窮」「呼」字に作る
- 94 「活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・無窮・足利・弘文・梅沢・東急・世徳・道蔵・天理」「無」に作る
- 95 「足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東」は「也」字、「道蔵」は「矣」

字、¹活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・筑波・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理 は「者也」二字、「梅沢」は「者也之」三字に作る

97 〔弘文〕「生之畜之」「生而不有」の兩經文及びその注文を脱す
 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅱ
 98 活Ⅰ・活Ⅱ・武内・東大・東洋・天理 は「也」字に、「筑波・東急」は「之也」二字に作る
 活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・足利・東急・天理・世徳・道藏
 〔無〕字に作る

101 100 〔所取有〕、「敦Ⅰ」〔有所取〕に作る
 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・慶Ⅱ
 活Ⅰ・活Ⅱ・東大・東急・天理「也」字有り

20才1 無用第十一¹

三十輻共一轂^{2 3}

古者車三十輻法月數也共一轂者轂中有孔故衆輻共湊也治身者當除情去欲使五藏空虚神乃歸之也治國者寡能物衆弱共使強也

當其無有車之用²⁴

无謂空虚轂中空虚輪得轉行轡中空虚人得載其上

102 〔慶Ⅰ・大東・武内・東大〕「特」字に、「梅沢」一時一字に作る
 103 〔慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・斯Ⅱ・武内・東大〕「特」字に作る
 104 〔天理〕〔望〕字無し
 105 106 〔筑波・敦Ⅰ〕「也」字無し
 107 106 〔道長養万物〕、「敦Ⅰ」〔道養万物長大〕に作る
 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理
 〔也〕字有り
 108 〔道藏〕〔行〕字無し
 109 〔世徳〕〔徳〕に作る
 110 〔道藏〕〔知〕字に作る
 111 〔敦Ⅰ〕「也」字無し

無用第十一

三十ノ輻一ノ轂ヲ共ニス³

古ニハ〔者〕・車三十ノ輻アルコト八月ノ數ニ法レリ〔也〕。
 一ノ轂ヲ共〔ニス〕ト云コトハ〔者〕・轂ノ中ニ孔有〔リ〕。故ニ衆輻共ニ湊マル〔也〕。身ヲ治〔ム〕ル者ハ・當ニ情ヲ除キ欲ヲ去〔ヘ〕ケテ五藏ヲ使テ空虚ナラ〔シ〕ムルトキハ・神乃〔チ〕歸ス〔之也〕。國ヲ治〔ム〕ル者・寡能〔ク〕衆ヲ惣フ・弱共ニ強ヲ使フ〔也〕

其ノ無ナルニ當〔リ〕テ車ノ〔之〕用有〔リ〕

无ト云ハ・空虚ヲ謂〔フ〕・轂中空虚ニシテ輪轉〔リ〕行〔ク〕

也³⁴

埳埴以為器

埳和也埴土也和土以為飲食之器³⁵

³⁶

コトヲ得・擧ノ「中空」虚ニシテ・人其ノ「上」ニ載ルコトヲ得
〔也〕

埴ヲ埳シテ以テ器ニ為ル
ハニ
本ヤ
市方反
埳發

埳ハ・和〔也〕。埴ハ・土〔也〕。土ヲ和シテ・以テ飲「食」ノ〔之〕

器ヲ為〔ル〕

其ノ「無」ニ當〔リ〕テ・器ノ〔之〕用有〔リ〕

當其無有器之用³⁷
器中空虚故得有所盛受也⁴¹⁴²

器ノ「中空」虚ナリ。故ニ盛〔平〕〔リ〕受〔クル〕所有〔ル〕コト

ヲ得〔也〕

鑿戸牖以為室

謂作屋室⁴³⁴⁴

當其無有室之用

言戸牖空虚人得以出入觀視室中空虚人得以居処⁴⁷⁴⁸

是其用也⁴⁹⁵⁰

其ノ「無」ニ當〔リ〕テ・室ノ〔之〕用有〔リ〕

言ハ戸「牖」空「虚」ニシテ人以テ出「入」シテ觀「視」ルコトヲ得

〔。〕室ノ「中空」虚ニシテ人以テ居「処」〔上〕スルコトヲ得〔。〕

是レ其ノ「用」ナリ〔也〕

故有之以為利

物利於形器中有物室中有人恐其屋破壞腸中有神⁵¹⁵²⁵³⁵⁴⁵⁵⁵⁶

畏形之消亡也⁵⁷⁵⁸⁵⁹

故ニ有〔ノ〕〔之〕以テ利ヲ為〔ス〕コトハ

物ハ〔於〕形ヲ利トス・器ノ「中」ニ物有〔リ〕・室ノ「中」ニ人有

〔リ〕・恐クハ其ノ「屋」破レ「壊」レシコトヲ。腸ノ「中」ニ神有

〔リ〕・形ノ〔之〕消亡センコトヲ畏ル〔也〕

無之以為用⁶⁰

無ノ〔之〕以テ用〔ヲ〕為〔ス〕ナリ

言虚空者乃可用盛受物故曰虚无制有形道者空也^{61 62 63 64 65 66 67 68}

言ハ虚空ナレハ「者」乃「子」用「ヒ」テ物ヲ盛（平）リ受ク可（シ）。故ニ曰（ク）・虚^レ无^ク・有^ク形ヲ制^ススト・道ハ「者」空ナリ（也）

校異

- 1 「書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ」章題無し、「武内・東大・東洋」用「字下」章「字有り」、「筑波・弘文・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ」「三十輯章第十一」に作る
- 2 「三十」、「書陵・龍門・無窮・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ」卅」に作る
- 3 「陽Ⅰ」綬」に作る
- 4 「古者車」筑波「古車者」に作る
- 5 「三十」、「書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・敦Ⅰ」卅」に作る
- 6 「天東」輪」に作る
- 7 「法」字下、「筑波」「同」字有り
- 8 「梅沢・慶Ⅱ」「日」に作る
- 9 「敦Ⅰ」也」字無し
- 10 「斯Ⅱ」者」字無し
- 11 「弘文・斯Ⅱ」道藏」綬」字無し
- 12 「弘文」幅」字無し
- 13 「道藏」天理」共」字無し
- 14 「也」諸本」之」字に作る
- 15 「活Ⅰ・活Ⅱ」陽Ⅰ・天理」臟」字に作る
- 16 「東大」及」字に誤る
- 17 「筑波・大東・慶Ⅱ・東洋」天理」飯」に作る
- 18 「活Ⅰ」道藏」也」字無し
- 19 「治國者」至「扶強也」十二字、「道藏」無し
- 20 「弱」字下、「天東」去」字有り
- 21 「足利」は「供」・世徳」は「能」字に作る
- 22 「活Ⅰ・活Ⅱ」慶Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・梅沢・東急・敦Ⅰ」天理」扶」字に作る

- 23 「宋版」世徳」也」字無し、「筑波・梅沢・武内」「也」二字に作る
- 24 「龍門・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ」「无」字に作る
- 25 「活Ⅰ・活Ⅱ」書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・東急・世徳」道藏」天理」无」字に作る
- 26 「道藏」爲」に作る
- 27 「虚」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ」陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急」天理」也」字有り
- 28 「陽Ⅰ」東洋」綬」字に作る
- 29 「宋版」世徳」車」に作る
- 30 「得」字下、「弘文」輪」字有り
- 31 「宋版」は「去」に、「世徳」は「其」に作る
- 32 「東急」行」字無し
- 33 「宋版」世徳」能」に作る
- 34 「武内」足利・敦Ⅰ」道藏」天理」也」字無し
- 35 「飲食」活Ⅰ・活Ⅱ」陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急」敦Ⅰ」食飲」に作る
- 36 「活Ⅰ・活Ⅱ」陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急」也」字有り
- 37 「當其無有器之用」此の經文及び下注、「弘文」脱
- 38 「陽Ⅰ」龍門・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ」无」字に作る
- 39 「器」字上、「東急」挺」字有り
- 40 「敦Ⅰ」道藏」得」字無し
- 41 「道藏」盛」字無し

42 「宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵」也「字無し」
 43 「屋室」・「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ」
 梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ・道蔵・
 天理は「室屋」に、「書陵・龍門」は「空屋」に作る
 44 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
 Ⅱ」梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・天理「也」字
 「東急」之也「二字有り」
 45 「龍門・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・六地・陽Ⅱ・敦
 Ⅰ」无「字に作る」
 46 「道蔵」言「字無し」
 「得以」・天理「以得」に作る
 47 「道蔵」觀視「二字無し」
 「是其用也」道蔵此の四字無し
 49 「宋版・世徳・敦Ⅰ」也「字無し」
 「物」・「宋版・世徳・道蔵」利物也「三字に作る」
 52 「道蔵」於「字無し」
 「器」字上、「宋版・世徳」用「字」道蔵「於用」二字有り
 53 「屋」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・
 斯Ⅱ」慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・天理「之」字有り
 55 「足利」懷「に誤る」

56 諸本「腹」字に作る
 「形」字上、「其」字有り
 57 「道蔵」之「字無し」
 58 「敦Ⅰ・道蔵」也「字無し」・「梅沢」也之「に作る」
 59 「龍門・武内・東大・東洋・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ」无「字に作る」
 60 「虚空」・天理は「虚無」に、「無窮・足利・筑波・慶Ⅱ・東洋
 Ⅱ」は「空虛」に、「慶Ⅰ・大東」は「室虚」に作る
 61 「道蔵」謂「字に作る」
 62 「受」字下、「大東・武内・東大・敦Ⅰ」は「万」字、「宋版・世
 徳」道蔵は「萬」字有り
 63 「物」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・
 弘文・斯Ⅱ」梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東大・慶Ⅱ・東洋・東急・
 敦Ⅰ・天理「也」字有り
 64 「活Ⅰ・活Ⅱ」書陵・無窮・弘文・梅沢・大東・慶Ⅱ・東急・世
 徳・道蔵・天理「無」字に作る
 65 「制」字上、「活Ⅰ・活Ⅱ」宋版・世徳・道蔵・天理は
 「能」字、「足利・筑波・弘文・斯Ⅱ」慶Ⅰ・大東・東急は「者」
 字有り
 66 「道蔵」虚空「二字に作る」

22才3 檢欲第十二

五色令人目盲

貪淫好色則傷精失明也

五音令人耳聾

好聽五音則和氣去心不能聽无声之声也

檢欲第十二

五色ハ・人ノ目ヲ令ハ平テ盲令ム

貪淫ニシテ色ヲ好(ム)トキハ・(則)精ヲ傷リ明ヲ失フ(也)

五音ハ・人ノ耳ヲ令ハ平テ聾令ム

好(ミ)去テ五音ヲ聽(ク)トキハ・(則)和氣心ヲ去(上)リ
 テ・无声ノ(之)声ヲ聽(ク)コト能(ハ)不(也)

五味令人口爽¹²

爽¹³妄也人嗜¹⁴於五味則口妄言失於道也²¹

馳騁田獵令人心發狂

人精神好安靜馳騁呼吸精神散亡故發狂也²²

難得之貨令人行妨

妨傷也難得之貨謂金銀珠玉心貪意欲不知厭足則行傷身辱也²⁴²⁵²⁶²⁷²⁸

是以聖人為腸

守五性去六情節志氣養神明²⁹³⁰

不為目

目不妄視泄精於外也³¹³²³³

故去彼取此³⁴

去彼目之妄視取此腸之養性也³⁵³⁶³⁷

五味ハ・人ノ口ヲ令平テ爽ハ「令」ム

爽ハ「妄」也。人「於」五味ヲ嗜ムトキハ・「則」口妄リニ言

（ヒ）テ・「於」道ヲ失フ（也）

馳騁田獵ハ・人ノ心ヲ令平テ發狂セ「令」ム

人ノ精神ハ・安靜ヲ好ヘ去ム。馳騁呼呼吸スルトキハ精

神散亡ス。故ニ狂ヲ發ス（也）

得難キ「之」貨ハ・人ノ行ヲ令平テ妨レ「令」ム

妨ハ・傷「也」。得難キ「之」貨ト云ハ・金銀珠玉ヲ謂（フ）。

心ニ貪リ意ニ欲シテ・厭キ足（ル）コトヲ知（ラ）不（ル）ト

キハ・「則」行ヘ去傷レ身辱シメラル（也）

是（ラ）以テ・聖人ハ腸ヲ為テ

五性ヲ守リ・六情ヲ去上ケ・志氣ヲ節シテ神明ヲ養フ

目ヲ為不

目妄リニ視テ精ヲ「於」外ニ泄ラサ不（也）

故ニ彼ヲ去上テ此ヲ取（ル）

彼ノ目ノ「之」妄ニ視（ル）コトヲ去上テ・此ノ腸ノ「之」性

ヲ養フコトヲ取（ル）（也）

1 一書陵・龍門・無窮・足利・斯II・東急・六地・陽II・敦I 章

題無し、〔武内・東大・東洋〕「欲」字下「章」字有り、〔筑波・弘文・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ〕「五色章第十二」に作る

2 〔陽Ⅰ〕「慾」字に作る

3 〔筑波・敦Ⅰ〕「姪」字に作る

4 〔淫好〕、〔道藏〕「好淫」に作る

5 〔敦Ⅰ・道藏〕「治要」也」字無し

6 〔入耳〕、〔東大〕「耳人」に作る

7 〔足利〕「聽」字に、〔弘文〕「听」字に作る

8 〔治要〕「不能聽无声之声」七字無し

9 〔弘文〕「听」字に作る

10 〔活Ⅰ〕、〔活Ⅱ〕書陵・無窮・弘文・東急・宋版・世徳・道藏・天理〔無〕字に作る

11 〔宋版〕、〔世徳〕敦Ⅰ・道藏・天理「也」字無し、〔治要〕「之也」に作る

12 〔弘文〕「人」字無し

13 〔宋版〕、〔世徳〕敦Ⅰ・道藏「亡」字に作る

14 〔東大〕「者」字に作る

15 〔宋版〕、〔世徳〕道藏「於」字無し

16 〔味〕字下、〔宋版〕、〔世徳〕「於口」二字有り

17 〔道藏〕「口」字無し

18 〔宋版〕、〔世徳〕敦Ⅰ・道藏「亡」字に作る

19 〔道藏〕「言」字無し

20 〔道〕字下、〔宋版〕、〔世徳〕道藏「味」字有り

21 〔敦Ⅰ〕、〔道藏〕「治要」也」字無し

22 〔足利〕「已」字に作る

23 〔敦Ⅰ〕「也」字無し

24 〔道藏〕「難得之貨謂」五字無し

25 〔東急〕「行」字に作る

26 〔意〕字下、〔足利〕「玉心」二字有り

27 〔治要〕「不知厭足」四字無し

28 〔敦Ⅰ〕「也」字無し、〔東急〕「也矣」二字に作る

29 〔活Ⅰ〕、〔活Ⅱ〕陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・六地・陽Ⅱ・宋版・世徳・敦Ⅰ・道藏・天理「腹」字に作る

30 〔活Ⅰ〕、〔活Ⅱ〕陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理「也」字有り

31 〔視〕字下、〔弘文〕慶Ⅱ・東大・宋版・世徳・敦Ⅰ「妄視」二字、〔道藏〕「妄視則」三字有り

32 〔筑波〕、〔梅沢〕「洩」字に作る

33 〔宋版〕、〔世徳〕敦Ⅰ・道藏「也」字無し、〔書陵〕龍門・慶Ⅱ・武内・東大・東洋は「者也」、〔東急〕は「之也」二字に作る

34 〔取〕字下、〔敦Ⅰ〕「取」字有り、〔行〕

35 〔活Ⅰ〕、〔活Ⅱ〕陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・宋版・世徳・敦Ⅰ・道藏・天理「腹」字に作る

36 〔道藏〕「神」に作る

37 〔宋版〕、〔世徳〕敦Ⅰ・道藏「也」字無し

22才3

1 猥耻第十三

寵辱若驚

身寵亦驚身辱亦驚也³

貴大患若身

猥耻第十三

1 寵ニモ辱ニモ驚クカ若シ

身寵(セ)ラレテモ亦驚キ・身辱メラレテモ亦驚ク(也)

大患ノ身ニ若ランコトヲ貴ル

貴畏也若至也畏大患至身故皆驚也⁴

何謂寵辱

問何謂寵何為辱寵者尊榮辱者恥辱及身還自問者以曉¹³¹⁴¹⁵⁷⁶⁵

寵為上¹⁶

寵為尊榮¹⁷¹⁸

辱為下

辱為下賤¹⁹

得之若驚

得寵榮驚者處高位如臨危也貴不敢驕富不敢奢也²⁰²¹²²²³²⁴²⁵

失之若驚

失者失寵處辱也驚者恐禍重来也²⁶²⁷

是謂寵辱若驚

解上得之驚失之驚²⁸²⁹³⁰

貴ハ・畏(也)。若ハ・至(也)。大患ノ身ニ至(ラ)ンコトヲ畏ル。故ニ皆驚ク(也)

何ヲカ寵辱ト謂(フ)

問(フ)何ヲカ寵ト謂(ヒ)・何ヲカ辱ト為(ス)・寵ハ(者)尊榮・辱ハ(者)恥辱ノ身ニ及(フ)ソ・還(ツ)テ自ラ問(フ)コトハ(者)・以テ人(ヲ)曉サントナリ

寵ヲハ上ト為ス

寵ヲハ尊榮ト為ス

辱ヲハ下ト為(ス)

辱ヲハ下賤ト為(ス)

得テモ(之)驚クカ若(シ)

寵榮ヲ得テ驚クコトハ(者)・高位ニ處(上)ルコト・危キニ臨メルカ如(シ)(也)。貴(ク)トモ敢テ驕ラ不・富(シ)テモ敢テ奢ラ不(也)

失(ヒ)テモ(之)驚クカ若(シ)

失ト云ハ(者)・寵ヲ失(ヒ)テ辱ニ處(ル)ソ(也)。驚ト云ハ(者)・禍ノ重(平)ネテ来(ラ)ンコトヲ恐ル、ソ(也)

是ヲ寵ニモ辱ニモ驚(ク)カ若シト謂(フ)

上ノ得テ(之)驚キ失(ヒ)テ(之)驚クコトヲ解ク

何謂貴大患若身

復還自問何故畏大患至身³³

吾所以有大患者為吾有身³⁴

吾所以有大患者坐吾有身憂其勤勞念其飢寒觸情
從欲則遇禍患也^{38 39 40}

及吾無身吾有何患乎^{41 42 43}

使吾無身躅道自然輕舉昇雲出入無間与道通神當
有何患矣^{44 45 46 47 48 49}

故貴以身為天下者則可以寄天下^{50 51 52 53 54}

言人君自貴其身而賤人欲為天下主者則可寄立不
可以久也^{60 61 62}

愛以身為天下者乃可以託於天下矣^{63 64 65 66 67 68}

言人君能愛其身非為已也乃欲為万民之父母以此

何ヲカ大患ノ身ニ若ランコトヲ貴ルト謂(フ)

復(去)還(夕)還(ツ)テ自(ラ)問(フ)・何ノ故ニカ大患ノ身
ニ至ランコトヲ畏ル、ヤ

吾カ大患有(ル)所^六以ハ(者)・吾カ身ヲ有スルカ為(去)ナリ

吾カ大患有(ル)所^六以ハ(者)・吾カ身ヲ有スルニ坐セラル
〔ス〕・其ノ勤勞ヲ憂ヘ・其ノ飢寒ヲ念(ヒ)テ・情ニ觸レ欲
ニ從(フ)トキハ・〔則〕禍患ニ遇フ(也)

吾カ身ヲ無スルニ及(シ)テ・吾何ノ患ヘカ有(ラン)乎^ヤ

吾ヲノ(使)身ヲ无(ニ)シテ・道ノ自然ニ躅^一シテ・輕ク舉(リ)テ
雲ニ昇リ・无間ニ出入^二シテ・道与神ヲ通セ^ト〔使〕メハ・當ニ何
ノ患カ有(ル)〔當〕キ〔矣〕

故ニ貴フルニ身ヲ以テ・天^一下(ノ)為^クニスル者ハ・〔則〕以テ天^一
下ニ寄ル可シ

言ハ人君自(ラ)其ノ身ヲ貴(ヒ)テ・〔而〕人ヲ賤^シク・天^一下
ノ主^ト為ラント欲スル者ハ・〔則〕寄^ト立ス可シ。以テ久(シ)カ
ル可(カラ)不(也)

愛スルニ身ヲ以(テ)シテ・天下ヲ爲ル者ハ・乃チ以テ〔於〕天^一下
ヲ託ク可シ〔矣〕

言ハ人君・能(ク)其ノ身ヲ愛スルコト・己カ為(去)ニ非ス

得⁷¹為⁷²天下⁷³主者⁷⁴乃⁷⁵可以⁷⁶託其⁷⁷身於⁷⁸万民⁷⁹之上⁷⁸長⁷⁸无咎⁷⁹也

校異

- 1 「書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ・章題無し」〔武内・東大・東洋〕「耻」字下「章」字有り、「筑波・弘文・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ」〔龍辱章第十三〕に作る
- 2 弘文「安」字に作る
- 3 「筑波・斯Ⅱ・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵・天理」〔也〕字無し
- 4 「宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵」〔也〕字無し
- 5 「宋版・世徳」〔為〕に「道蔵」〔謂之〕二字に作る
- 6 陽Ⅰ「〔寵〕字下、又〔寵〕字有り、衍
- 7 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ・天理」〔謂〕に作る、「道蔵」〔謂之〕二字に作る
- 8 「道蔵」〔者〕字無し
- 9 「榮」字下、「道蔵」〔也〕字有り
- 10 「道蔵」〔者〕字無し
- 11 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ・天理」〔辱〕字無し、「弘文」〔之〕字に作る
- 12 「道蔵」〔及身〕二字無く、「辱」字下「〔也〕」字有り
- 13 「以曉人」〔道蔵〕〔為曉於人〕に作る
- 14 「筑波」〔人〕字下、又「〔人〕」字有り、衍
- 15 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・宋版・世徳・天理」〔也〕字有り
- 16 「梅沢・陽Ⅱ・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵」〔龍爲上〕三字無し
- 17 梅沢・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵「〔龍爲尊榮〕句無し
- 18 活Ⅰ・活Ⅱ・筑波・弘文・天理」〔也〕字有り
- 19 活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東急・天理」〔は〕〔也〕二字「〔梅沢〕

〔也〕。乃チ万民ノ〔之〕父母ヲ為ランコトヲ欲ソ・此ヲ以テ天下ノ主為(ル)コトヲ得(ル)者ハ・乃チ以テ其ノ身ヲ(於)万民ノ〔之〕上ニ託(ケ)テ・長ク咎无カル可シ〔也〕

- 1 「也」之二字有り
- 20 「驚者」〔道蔵〕〔者驚〕に作る
- 21 「危」字上、「宋版・世徳」〔深〕字有り
- 22 「梅沢・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ」〔也〕字無し
- 23 「慶Ⅰ・大東」〔不〕字無し
- 24 「武内」〔者〕字に作る
- 25 「宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵」〔也〕字無し、「梅沢」〔者也〕に作る
- 26 「梅沢・武内・東大・東洋・東急・道蔵」〔也〕字無し
- 27 「書陵・武内・東大・東洋・敦Ⅰ・道蔵」〔也〕字無し
- 28 「之」字下、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ・天理」〔は〕〔而〕字、「宋版・世徳・道蔵」〔は〕〔若〕字が有る、「弘文」〔は〕〔驚〕二字が有るが「驚」字は恐らくは衍
- 29 「之」字下、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ・天理」〔は〕〔而〕字、「宋版・世徳・道蔵」〔は〕〔若〕字有り
- 30 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・筑波・梅沢・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理」〔也〕一字、「無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東」〔は〕〔者也〕二字有り
- 31 「道蔵」〔何故畏大患至身〕此の注文句無し
- 32 「大患至身」〔宋版・世徳〕〔人若身〕に作る
- 33 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理」〔也〕字有り
- 34 「弘文」〔吾所以有大患者〕〔吾〕〔筑波〕〔五〕に作る
- 35 「東洋・東急」〔者〕字無し
- 36 「有身」〔宋版・世徳・道蔵〕〔爲〕に作る
- 37 「〔宋版〕下、〔武内・東大・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵〕又「〔有身〕」二字有り

視之不見名曰夷

- 57 〔武内・東大・東洋〕「縦」に作る
- 56 〔道蔵〕「辱」に作る
- 55 〔教I・道蔵〕「也」字無し
- 54 〔及吾無身〕「無窮・足利・筑波・斯II」は「及無吾身」に、弘文・慶I・大東は「及无吾身」に作る
- 53 〔龍門・東大・六地・陽II・教I〕「无」字に作る
- 52 〔宋版・世徳・道蔵〕「乎」字無し
- 51 〔活I・活II〕書陵・無窮・東急・世徳・道蔵・天理〔無〕字に作る
- 50 〔身〕字上、東大・教I・宋版・世徳〔有〕字有り
- 49 〔赫〕字下、斯II〔は〕通、教I・宋版・世徳〔は〕得〕有り
- 48 〔陽I〕書陵・龍門〔道〕字無し
- 47 〔活I・活II〕書陵・無窮・足利・弘文・梅沢・東急・世徳・道蔵・天理〔無〕字に作る
- 46 〔教I〕宋版・世徳・道蔵〔矣〕字無し、〔活I・活II〕陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・天理は「也」に、「東急は「之也」に、梅沢は「也之矣」に作る
- 45 〔陽I〕書陵・龍門、弘文・六地〔者〕字無し
- 44 〔梅沢・陽II〕東急〔則〕字無し
- 43 〔宋版・世徳〕〔以〕字無し
- 42 〔寄〕字下、諸本〔於〕字有り
- 41 〔活I・活II〕陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東洋・東急・六地・陽II・天理〔矣〕字有り
- 40 〔宋版・世徳・道蔵〕〔自〕字無し、〔教I〕〔故〕字に作る
- 39 〔下〕字下、〔道蔵〕〔之〕字有り
- 38 〔活I・活II〕陽I・東急・天理〔者〕字無し

視レトモ(之)見ヘ不ルヲ・名ツケテ夷ト曰(フ)

- 79 〔梅沢〕〔寄〕字無し
- 78 〔道蔵〕〔止〕字に作る
- 77 〔道蔵〕〔以〕字無し
- 76 〔無窮・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・慶II〕「長久」二字に作る、道蔵は「託」字に作る
- 75 〔教I・天理〕〔也〕字無し
- 74 〔愛〕字下、〔足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・教I〕〔身〕字有り
- 73 〔教I〕〔以身〕二字無し
- 72 〔爲〕字上、〔足利・斯II〕梅沢・陽II・教I〔以〕字有り
- 71 〔東急〕〔者〕字無し
- 70 〔東急〕〔可〕字無し
- 69 〔教I〕宋版・世徳・道蔵〔矣〕字無し
- 68 〔弘文〕愛其身〕三字無し
- 67 〔梅沢・教I〕〔也〕字無し
- 66 〔活I・活II〕陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・道蔵・天理〔徳〕字に作る
- 65 〔下〕字下、〔道蔵〕〔之〕字有り
- 64 〔道蔵〕〔者〕字無し
- 63 〔可以〕慶II〔以可〕に作る
- 62 〔道蔵〕〔其〕字無し
- 61 〔道蔵〕〔万〕字無し
- 60 〔道蔵〕〔之〕字無し
- 59 〔活I・活II〕書陵・無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・東急・世徳・道蔵・天理〔無〕字に作る
- 58 〔書陵・教I〕〔也〕字無し

無色²曰³表言⁴一無⁵綵色⁶不可⁷得⁸視⁹而見¹⁰之¹¹

聽之不聞名曰希

無聲⁸曰⁹希言¹⁰一無¹¹音声¹²不可¹³得¹⁴聽¹⁵而聞¹⁶之¹⁷

搏之不得名曰微

無形¹⁷曰¹⁸微言¹⁹一無²⁰形骸²¹不可²²搏²³持²⁴而得²⁵之²⁶

此三者不可致詰

三者謂²⁴夷²⁵希²⁶微也²⁷不可²⁸致²⁹詰³⁰者³¹夫³²無³³色³⁴無³⁵聲³⁶無³⁷形³⁸口³⁹不⁴⁰能⁴¹言⁴²書⁴³不⁴⁴能⁴⁵傳⁴⁶當⁴⁷受⁴⁸之⁴⁹以⁵⁰靜⁵¹求⁵²之⁵³以⁵⁴神⁵⁵不⁵⁶可⁵⁷強⁵⁸詰⁵⁹問⁶⁰而⁶¹得⁶²之⁶³也⁶⁴

故混而為一

混合也故合³⁸於³⁹三⁴⁰名⁴¹之⁴²而⁴³為⁴⁴一⁴⁵也⁴⁶

其上不皦

言⁴⁷一⁴⁸在⁴⁹天⁵⁰上⁵¹不⁵²皦⁵³光⁵⁴明⁵⁵

色無¹キ²ヲ³夷⁴ト⁵曰⁶フ⁷・言⁸ハ⁹一¹⁰色¹¹無¹²ク¹³・視¹⁴レ¹⁵ト¹⁶モ¹⁷而¹⁸見¹⁹ル²⁰コト²¹ヲ²²得²³可²⁴カラ²⁵不²⁶之²⁷

聽¹ケ²ト³モ⁴之⁵聞⁶ヘ⁷不⁸ル⁹ヲ¹⁰名¹¹ツ¹²ケ¹³テ¹⁴希¹⁵ト¹⁶曰¹⁷フ¹⁸

声¹無²キ³ヲ⁴希⁵ト⁶曰⁷フ⁸・言⁹ハ¹⁰一¹¹ハ¹²音¹³声¹⁴無¹⁵ク¹⁶・聽¹⁷ケ¹⁸ト¹⁹モ²⁰而²¹聞²²ク²³コト²⁴ヲ²⁵得²⁶可²⁷カラ²⁸不²⁹之³⁰

搏¹レ²ト³モ⁴之⁵得⁶不⁷ル⁸ヲ⁹名¹⁰ツ¹¹ケ¹²テ¹³微¹⁴ト¹⁵曰¹⁶フ¹⁷

形¹無²キ³ヲ⁴微⁵ト⁶曰⁷フ⁸・言⁹ハ¹⁰一¹¹ハ¹²形¹³骸¹⁴無¹⁵ク¹⁶・搏¹⁷リ¹⁸持¹⁹テ²⁰而²¹得²²可²³カラ²⁴不²⁵之²⁶

此ノ三ノ者ハ詰ルコトヲ致ス可カラ不

三ノ者ト云ハ夷・希・微ヲ謂フ也。詰ルコトヲ致ス可カラ不ト云ハ者・夫平レ色モ无ク・声モ无ク・形モ无ク・口モ言フコト能ハ不・書モ傳ルコト能ハ不・當ニ受ルニ之静ヲ以テシ・求ルニ之神ヲ以テス

故ニ混¹ヘ²上³フ⁴テ⁵而⁶一⁷ト⁸為⁹ル¹⁰

混¹ヘ²上³ハ⁴合⁵也。故ニ於⁶三⁷ヲ⁸合⁹セ¹⁰テ¹¹之¹²ヲ¹³名¹⁴ツ¹⁵ケ¹⁶テ

其ノ上ニシテモ皦¹ラ²カナ³ラ⁴不

言¹ハ²一³ハ⁴天⁵上⁶ニ⁷在⁸リ⁹テ¹⁰モ¹¹皦¹²々¹³ト¹⁴ソ¹⁵光¹⁶明¹⁷ナ¹⁸ラ¹⁹不

其下不昧

言一在天下不昧味有所聞真也

其ノ下ニシテモ味カラ不

言ハ一ハ天下ニ在(リ)テモ・昧味トノ・聞(ル)冥ナル所有(ラ)不(也)

繩く不可名

繩く者動行无窮極也不可名者一非色也不可青黃赤白黒別一非声也不可宮商角徵羽聽一非形也不可以長短大小度之也

繩々トソ・名ツク可(カラ)不

繩(ク)々ハ(者)・動(キ)行(イ)テ窮(リ)極(ル)コト无(シ)(也)。
名(ツ)ク可(カラ)不ト云ハ(者)・一ハ色ニ非(ス)(也)。
青黃赤白黒ヲ以テ別(ツ)可(カラ)不・一ハ声ニ非(ス)(也)。
宮商角徵羽ヲ以テ聽(ク)可(カラ)不。一ハ形ニ非(ス)(也)。
長短大小ヲ以テ度(ル)可(カラ)不(之也)

復歸於無物

物質也復當皈之於無質是謂無狀之狀

(於)物無キニ復(入)リ歸ス

物ハ・質(也)。
復(リ)テ當(ニ)之(於)質無キニ皈(ス)ニ當(シ)

是ヲ無(ク)狀ノ(之)狀ト謂フ

言ハ一ハ形狀無(ク)ノ・而(能)ク万(物)ノ為(ク)ニ形狀ヲ作

無物之象

言一无物質而能為万物設形象也

物ノ(之)象無(シ)

言ハ一ハ物ノ質无(ク)ノ・而(能)ク万(物)ノ爲(ク)去(ク)ニ形

象ヲ設(ク)(也)

是謂忽恍

言一忽く恍く者存若亡不可見之也

是ヲ忽(ク)恍(ク)ト謂(フ)

言ハ一ハ忽々恍々タルコト(者)・存(セ)ルカ若ク・亡(セ)ルカ

迎之不見其首⁹⁹

一无端末不可¹⁰⁰預待也¹⁰¹除情去欲¹⁰²一自¹⁰³皈¹⁰⁴已也¹⁰⁵

隨之不見其後

言一无¹¹¹影迹¹¹²不可¹¹³得而¹¹⁴隨¹¹⁵

執古之道以御今之有

聖人執守古道主¹¹⁷一以御物知今當有一¹¹⁸也¹¹⁹

以知古始是謂道紀¹²³

人能知上古本始有一是謂知道網紀者也¹²⁴

校異

- 1 〔書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ〕
題無し、〔武内・東大・東洋〕「玄」字下「章」字有り、〔筑波・弘文・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ〕「視之不見章第十四」に作る
- 2 〔陽Ⅰ・筑波・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・敦Ⅰ〕「无」に作る
- 3 〔陽Ⅰ・筑波・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・敦Ⅰ〕「无」に作る
- 4 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・弘文・慶Ⅱ・道藏・天理〕は「彩」字、〔梅沢・東急・宋版・世徳・敦Ⅰ〕は「采」字に作る
- 5 〔視而〕〔道藏〕「而視」に作る

若(ク)・見(ル)可(カラ)不(ズ)之(也)

之ヲ迎(フ)レトモ・其ノ首¹⁰⁶ヲ見¹⁰⁷不

一ハ端末无(ク)・預(チ)待(ツ)可(カラ)不(也)也。情ヲ除キ

欲ヲ去(セ)ルトキハ一自(ツ)カラ己(レ)ニ皈(ス)也

之ニ隨(ヘ)トモ・其ノ後¹⁰⁸ヲ見¹⁰⁹不

言ハ一(ハ)影迹无(ク)・得(テ)而(レ)隨(フ)可(カラ)不

古ノ〔之〕道ヲ執(リ)テ・以(テ)今ノ〔之〕有(ル)ヲ御(ス)

聖人ハ・古ノ道ヲ執(リ)守(リ)テ・一ヲ主(ト)メ以テ物ヲ

御(ス)。今ノ當(ニ)一ヲ有(ス)「當(キ)コトヲ知(ル)也」

以テ古始ヲ知(ル)・是ヲ道紀ト謂(フ)

人能(ク)上(古)ノ本始(ニ)有(ル)コトヲ知(ル)・是ヲ道ノ

網紀ヲ知(ル)者ト謂(フ)也

- 6 〔道藏〕「見」字無し
- 7 〔陽Ⅰ・書陵・龍門・筑波・梅沢・慶Ⅱ・東急〕は「也」字、〔活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・武内・東大・東洋・天理〕は「之也」、〔道藏〕は「之矣」に作る
- 8 〔活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅱ・東急・宋版・世徳・道藏・天理〕「无」字に作る
- 9 〔無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東〕「音」に作る
- 10 〔弘文〕「言」字無し
- 11 〔活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・足利・梅沢・東急・宋版・世徳・道藏・天理〕「无」字に作る
- 12 〔道藏〕「可」字無し

- 14 13 〔弘文〕「听」字に作る
 〔敦I〕「之」字無し、〔慶I・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯II〕「梅沢・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急」は「也」、
 〔活I・活II〕「無窮・天理」は「之也」、〔道蔵〕は「之矣」に作る
 15 〔活I・活II〕「書陵・筑波・慶I・大東・武内・東急」一搏」字に、
 〔陽I・世徳・道蔵〕「搏」字に作る
 16 〔東急〕「微」字に作る
 17 16 〔活I・活II〕「書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・慶II・東急・宋版・世徳・道蔵・天理」無」字に作る
 18 〔東急〕「微」字に作る
 19 18 〔活I・活II〕「書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯II・梅沢・東急・道蔵・宋版・世徳・天理」無」字に作る
 20 〔道蔵〕「形」字無し
 21 20 〔活I・活II〕「陽I・道蔵」は「搏」字に、〔筑波・慶I・大東・慶II・武内・東急〕は「搏」字に作る
 22 〔東急〕は「也」、〔活I・活II〕「書陵・龍門・無窮・足利・弘文・筑波・慶I・大東・慶II・斯II・梅沢・東大・東洋・天理」は「之也」、〔武内〕は「也之」に作る
 23 〔無窮・足利「詰」字に作る
 24 23 〔道蔵〕「詰」字無し
 25 24 〔夷希〕、「足利」「希夷」に作る
 26 25 〔東急〕「微」字に作る
 27 26 〔無窮・足利「詰」字に作る
 28 27 〔道蔵〕「夫」字無し
 29 28 〔活I〕「活II」書陵・龍門・無窮・弘文・斯II・梅沢・慶II・東急・宋版・世徳・道蔵・天理」無」字に作る
 30 〔活I〕「活II」書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・東急・宋版・世徳・道蔵・天理」無」字に作る
 31 〔活I・活II〕「書陵・龍門・無窮・弘文・梅沢・東急・宋版・世徳・道蔵・天理」無」字に作る
 32 〔道蔵〕「當」字無し
 33 32 〔筑波・弘文・慶I・大東・武内・東急〕「愛」に作る
 34 33 〔宋版・世徳・敦I・道蔵〕「強」字無し、〔書陵・龍門・梅沢・慶II〕「彊」字に作る
 35 〔無窮・足利「詰」字に作る
 36 35 〔而〕「字下、道蔵」能」字有り
 37 36 〔之也〕二字、〔敦I〕無し、〔慶II・天理〕「之」一字、〔陽I・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯II・梅沢・慶I・大東・武内・東大・東洋・道蔵〕は「也」一字に作る
 38 〔合於三名之而〕、〔道蔵〕「三名合而」に作る
 39 38 〔於〕字上、〔無窮〕「而」字有り
 40 39 〔三〕字下、〔弘文〕「者」字有り
 41 40 〔敦I・天理〕「而」字無し
 42 41 〔武内・東大・東洋・敦I・宋版・世徳・道蔵〕「也」字無し、
 〔慶I・大東〕は「之也」、〔梅沢〕は「也」二字に作る
 43 〔活I・活II〕「陽I・弘文・斯II・宋版・世徳・道蔵・天理」は「微」字、〔足利〕は「微」字に作る
 44 〔活I・活II〕「陽I・弘文・斯II・宋版・世徳・天理」は「微」字、〔足利〕は「微」字に作る
 45 〔活I・活II〕「陽I・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯II・慶I・大東・慶II・武内・東大・東洋・東急・天理」は「也」字、〔梅沢〕は「也之」二字有り、〔道蔵〕は「上下無窮極也」の六字が有る
 46 〔不〕字、〔弘文〕「昧」下に在り
 47 46 〔敦I〕「有有」に作り、〔有〕一字衍
 48 47 〔弘文〕「所」字無し
 49 48 〔道蔵〕「暗」字に作る
 50 49 〔足利・慶I・大東〕「真」字に誤る
 51 50 〔宋版・世徳・敦I・道蔵〕「也」字無し
 52 51 〔繩々〕下、〔無窮・筑波・武内・敦I・道蔵〕「兮」字有り
 53 52 〔活I・活II〕「書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶II・東急・宋版・世徳・道蔵・天理」無」字に作る
 54 〔敦I〕「寵」字に作る
 55 54 〔敦I〕「也」字無し
 56 55 〔一非〕、「宋版・世徳・敦I・道蔵」〔非一〕に作る
 57 56 〔慶II〕「危」字に誤る
 58 57 〔弘文〕「也」字無し
 59 58 〔梅沢〕「黃」字無し
 60 59 〔東急・宋版・世徳〕「赤」字無し
 61 60 〔青黃赤白黒、敦I〕「青黃白黒赤」に作る
 62 61 〔別〕字下、〔道蔵〕「也」字有り
 63 62 〔一非〕、「宋版・世徳・敦I・道蔵」〔非一〕に作る
 64 63 〔書陵・慶I〕「微」に作る
 65 64 〔弘文〕「听」に作る、〔聽〕字下、〔道蔵〕「也」字有り

94 「一非」、宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵「非Ⅰ」に作る
 「大小」、道蔵「小大」に作る
 「弘文」「少」字に作る
 69 敦Ⅰ「之也」二字無し、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理「也」一字に作る
 68 筑波・慶Ⅱ・天理「版」に作る
 67 道蔵「物」に作る
 66 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・梅沢・慶Ⅰ・大東・東急・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵」一歸」字に作る
 74 「於無」、武内「无於」に作る
 75 陽Ⅰ・筑波・慶Ⅰ・大東・東大・東洋・敦Ⅰ「无」字に作る
 76 天理「實」に作る
 77 活Ⅰ・活Ⅱ・無窮・足利・弘文・筑波・慶Ⅰ・大東・斯Ⅱ・天理「也」字有り
 78 「是」字下、東大「以」字有り
 79 慶Ⅰ・大東・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ「无」字に作る
 80 天理「將」に作る
 81 陽Ⅰ・足利・筑波・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・敦Ⅰ「无」字に作る
 82 弘文「質」に作る
 83 「作形状」、弘文「形状作」に作る
 84 敦Ⅰ・道蔵「也」字無し
 85 東大・六地・敦Ⅰ「无」字に作る
 86 宋版・世徳・道蔵「言」字無し
 87 活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・弘文・梅沢・東急・宋版・世徳・道蔵・天理「無」字に作る
 88 宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵「能」字無し
 89 敦Ⅰ・道蔵「也」字無し
 90 宋版・世徳「爲」字に作る
 91 東大・宋版・世徳・敦Ⅰ「は」字無し
 92 宋版・世徳「言」字無し
 93 東大・宋版・世徳・敦Ⅰ「は」字無し
 94 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯

Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東洋・東急・敦Ⅰ・道蔵「天理」者」字無し
 95 慶Ⅱ「有」字に作る
 96 足利「已」に作る、但、右旁に見消ち、眉上に「亡」字を加筆
 97 「可」字下、道蔵「得」字有り
 98 敦Ⅰ・道蔵「之也」二字無し、活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理「也」一字に作る
 99 「迎之不見其首」の経文句及び注文、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ・天理」は、次経文「隨之不見其後」の注文後に配す
 100 活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・弘文・梅沢・東急・宋版・世徳・道蔵・天理「無」字に作る
 101 「无端」、敦Ⅰ「端无」に作る
 102 「末不可」、陽Ⅰ「末」字無く「不可」に、弘文・斯Ⅱ・武内・東大「は」末可」に、書陵・龍門・無窮・足利・筑波・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・東洋・東急・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東急・敦Ⅰ「須」字に作る
 103 敦Ⅰ「也」字無し
 104 梅沢・敦Ⅰ「情」字無し
 105 道蔵「二」字無し
 106 「自」字上、無窮「曰」字有り
 107 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・東大・東急・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵「一歸」字に作る
 108 宋版・世徳・道蔵「之」字に作る
 109 東急・敦Ⅰ・道蔵「也」字無し
 110 活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・弘文・梅沢・慶Ⅱ・東急・宋版・世徳・道蔵・天理「無」に作る
 111 筑波「は」景、「世徳」は「形」字に作る
 112 道蔵「跡」字に作る
 113 書陵・龍門・無窮・筑波・慶Ⅱ・東大・東洋・東急・敦Ⅰ「不」字無し
 114 活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅

沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理」に「也」
 字「無窮」に「之」字有り
 117 「道藏」〔守〕字無し
 118 「古」字下、「道藏」〔之〕字有り
 119 「筑波・大東・武内」〔至〕字に「宋版・世徳・敦Ⅰ・道藏」〔生〕
 字に作る
 120 「陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶
 Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ」〔物〕字無し、
 「道藏」〔萬物〕二字に作る
 121 「今」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・
 斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・天理」〔之〕字有り

25ウ5 顯徳第十五

古之善為士者

謂得道之君也²

微妙玄通³

玄天也言其志節玄妙精与天通也⁷

深不可識

道徳深遠不可識知内視若盲反聽若聾莫知所長¹²

夫唯不可識故強為之容

謂下句也¹³

122 「敦Ⅰ」〔也〕字無し
 123 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・天理」〔能〕字に作る
 124 「天理」〔知〕字無し
 125 「道」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・
 弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・
 道藏・天理」〔之〕字有り
 126 「綱紀」〔道藏〕〔紀綱〕に作る
 127 「敦Ⅰ」〔者也〕二字無し、「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足
 利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・宋
 版・世徳・道藏・天理」〔也〕二字に作る

顯徳第十五

古ノ之善ク士為ル者ハ

道ヲ得タル之君ヲ謂フ也

微妙ニソ玄ト通ス

玄ハ・天也。言ハ其ノ志節玄妙ニソ・精天与通ス也

深ウノ識リウ可カラ不

道徳深遠ニソ識リ知ル可カラ不。視ヲ内ニソ盲タルカ若ク・聽ヲ反ソ聾タルカ若ク・所長ヲ知ルコト莫

(シ)

夫ヘ平レ唯識ル可カラ不故ニ強ヒテ之カ容ヲ為ル

下ノ句ヲ謂フ也

與¹⁴兮若冬涉川¹⁵

擧事輒加重慎¹⁶與¹⁷兮若冬涉川¹⁸心猶難¹⁹之也²⁰

猶兮若畏四隣

其進退猶²⁴如拘制²⁵若人犯法畏四隣²⁶知之也²⁷

儼兮其若客

如客³²因主人儼然無所造作也³³

渙兮若冰之將釋

渙者解散釋者消亡除情去欲日以空虛³⁹

敦兮其若朴

敦者質厚朴者形未分內守精神外无私文⁴⁴

曠兮其若谷

曠者寬大谷者空虛不有德功名無所不包容也⁵¹

渾兮其若濁

與タルコト〔兮〕・冬川ヲ涉ルカ若シ

事ヲ擧^{スナハ}ノ・輒チ加重シ^{マズク}慎ム。與^ニタルコト〔兮〕・冬川ヲ涉

ルカ若〔シ〕・心ニ猶〔ホ〕難去^{ハミカ}ルカ〔猶〕〔シ〕〔之也〕

猶タルコト〔兮〕・四隣ヲ畏ルカ若〔シ〕

其ノ進退猶々タルコト・拘ヘ制スルカ如シ・人ノ法ヲ犯

シ・四隣知ランコトヲ畏〔ル〕カ若〔シ〕〔之也〕

儼タルコト〔兮〕・其〔レ〕客ノ若〔シ〕

客ノ主人ニ因〔リ〕テ・儼然トシテ造作スル所無〔キ〕カ如シ

〔也〕

渙タルコト〔兮〕・冰ノ〔之〕將ニ釋ケナント〔將〕ルカ若シ

渙ハ〔者〕・解散・釋ハ〔者〕・消亡・情ヲ除キ欲ヲ去ヘ上

〔リ〕テ・日ニ以テ空^ヒ虚ナリ

敦タルコト〔兮〕・其〔レ〕朴〔ハ〕入〔ノ〕若〔シ〕

敦ハ〔者〕・質厚。朴〔ハ〕入〔ノ〕者^{スホキナルカ}・形ノ未タ分〔レ〕未^スツ

内ニ精^シ神ヲ守〔リ〕テ・外ニ彩^シ文无〔キ〕ソ

曠タルコト〔兮〕・其〔レ〕谷ノ若〔シ〕

曠ハ〔者〕・寬大・谷ハ〔者〕・空^ク虚。有^ル德功名ヲセ不^ス

包〔ネ〕容〔レ〕不ト云所無〔シ〕〔也〕

渾タルコト〔兮〕・其〔レ〕濁レルカ若〔シ〕

渾者守本真濁者不照然也與衆合同不自尊也^{60 61}

孰能濁以靜之徐清^{62 63}
水之濁止而靜之徐く自清也^{64 65 66 67 68 69 70 71 72 73}

孰能安以久之徐生^{74 75 76 77}

孰誰也誰能安靜以久徐以長生也^{78 79 80}

保此道者不欲盈⁸¹

保此徐生之道不欲奢泰盈溢^{82 83 84 85 86}

夫唯不盈故能弊不新成⁸⁷

夫唯不盈滿之人能守弊不為新成敵者匿光榮也新成者謂貴功名者也^{88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100}

渾ハ「者」・本真ヲ守ル。濁ハ「者」・照然ナラ不也。衆与合「同」・自ラ「尊カラ不也」

孰シ「能ク」濁ラム・以テ静ナレハ「之」徐クニ清シヌ

水ノ「之」濁・止マテ「而」静ナルトキハ「之」・徐々ニ自ツカラ「清シ也」

孰カ能ク安カニシテ以テ久クシテ「之」徐ニ生ケラン

孰ハ「誰也」。誰カ能ク安静ニソ以テ久クソ・徐ニ以テ長シ生ナラン也

此ノ道ヲ保ツ者ハ・盈タンコトヲ欲セ不

此ノ徐生ノ「之」道ヲ保ツハ・奢泰ニソ盈チ「溢レンコトヲ欲セ不

夫平レ唯盈タ不・故ニ能ク弊シテ新成セ不

夫平レ唯盈チ満タ不レ「之」人ハ・能ク弊ヲ守リテ・新ニ成ルコトヲ為不。蔽ト云ハ「者」・光榮ヲ匿ス也。新成ト云ハ「者」・功名ヲ貴者ヲ謂フ也

校異

1 「書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ」章題無し、「武内・東大・東洋」「德」字下「章」字有り、「筑波・慶Ⅰ・大東」「古之善章第十五」に作る、「弘文・慶Ⅱ」「古之善爲士章第十五」に作る

2 「敦Ⅰ」「也」字無し

3 「東急」「微」字に作る

4 「慶Ⅰ」「妙」に作る

5 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・天理」「微」に

〔東急〕「微」字に作る
 〔慶Ⅰ・道藏〕「也」字無し
 〔道藏〕「如」字に作る
 〔東大〕「及」字に誤る
 〔弘文〕「听」字に作る
 〔敦Ⅰ〕「聲」字に誤る
 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ〕梅沢・慶Ⅱ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理
 〔也〕字有り
 〔龍門・敦Ⅰ・道藏〕「也」字無し
 〔書陵・龍門・六地〕「は」興「字」
 〔足利〕「は」与「豫」、道藏「は」屯「豫」二字に作る
 〔筑波・梅沢〕「河」字に作る
 〔書陵・龍門〕「は」興「與」に、「梅沢・足利」は「与々」に、「東急・敦Ⅰ・道藏」は「豫豫」に作る
 〔弘文・東洋〕「與」字無し
 〔梅沢・足利・東急〕「分」字無し
 〔若〕字下、梅沢「人」字有り
 〔梅沢〕「河」字に作る
 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅱ〕大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ・道藏・天理
 〔猶〕字無し
 〔東急〕「之」字無し
 〔敦Ⅰ・道藏〕「也」字無し
 〔道藏〕「退」字無し
 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ〕梅沢・慶Ⅱ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・天理
 〔如〕字無し、道藏「若」字に作る
 〔筑波・慶Ⅱ〕「抱」字に、「斯Ⅱ」拍「字」に作る
 〔入犯法、弘文〕「犯人法」に作る
 〔知之、道藏〕「之知」に作る
 〔陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大〕「之」字無し、筑波「已」に作る
 〔筑波・東急・敦Ⅰ・道藏〕「也」字無し
 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・六地〕「如」字に作る

32 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ〕大東・慶Ⅱ・天理「若」字に作る
 33 〔宋版・世徳〕「畏」字に、「道藏」對「字」に作る
 34 〔陽Ⅰ・足利・筑波・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ〕大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋「无」字に作る
 35 〔敦Ⅰ〕「也」字無し
 36 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・足利・筑波・弘文・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・六地・陽Ⅱ〕世徳・敦Ⅰ・天理「水」字に作る
 37 〔東洋〕「之」字無し
 38 〔敦〕字下、「道藏」「也」字有り
 39 〔亡〕字下、「道藏」「也」謂「二字有り」
 40 〔東大〕「敬」字に誤る
 41 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ〕大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・道藏・天理「也」字有り
 42 〔梅沢〕「若」字無し
 43 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・筑波・梅沢・東急・陽Ⅱ〕敦Ⅰ・道藏・天理「樸」字に作る
 44 〔厚〕字下、「道藏」「也」字有り
 45 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・梅沢・東急・敦Ⅰ・道藏〕天理「樸」字に作る
 46 〔分〕字下、「道藏」「也」字有り
 47 〔活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・龍門・無窮・弘文・梅沢〕大東・東急・宋版・世徳・道藏・天理「無」字に作る
 48 〔彩文〕「東急・敦Ⅰ」は「采文」、〔武内・東大・東洋〕「道藏」は「文彩」、〔宋版・世徳〕は「文采」に作る
 49 文末、〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ〕大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・宋版・世徳・天理「也」字有り
 50 〔大〕字下、「道藏」「也」字有り
 51 〔功名、活Ⅰ〕梅沢・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・活Ⅱ・陽Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ・天理「名功」に作る
 52 〔弘文〕「不」字無し
 53 〔書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ〕大東・東急・敦Ⅰ「苞」字に作る

77 76 75 74 73 72 71 70 69 68 67 66 65 64 63 62 61 60 59 58 57 56 55 54
 「活Ⅰ・活Ⅱ」宋版・世徳・道蔵・天理「孰誰也」三字無し
 「梅沢・陽Ⅱ」之「字無し」
 「久」字下、「斯Ⅱ」宋版・世徳・道蔵「敦Ⅰ」一字、
 「弘文」は「動々」二字有り
 「真」字下、「道蔵」也「字有り」
 「宋版・世徳」舉「字」字に作る
 「東急・敦Ⅰ」也「字無し」
 「宋版・世徳」字に作る
 「世徳」專「字」に作る、「東洋」は「導」字に作る、但、左旁
 「尊」字加筆
 「東急・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵」也「字無し」
 「足利」敦「字」に誤る
 「書陵・龍門・無窮・筑波・梅沢・慶Ⅰ・大東・武内・東洋・東
 急」六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ「孰能」二字無し
 「以」字下、「道蔵」止「字有り」
 「水」字上、「活Ⅰ・活Ⅱ」宋版・世徳・天理「孰誰也誰能知」、
 「道蔵」孰誰也誰能如「六字有り」
 「敦Ⅰ」水之濁止而靜之「七字無し」
 「陽Ⅰ・書陵・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大
 東・慶Ⅱ」武内・東大・東洋・東急「之」字無し
 「龍門」上「字」に作る
 「東大」は「清」字、「宋版」は「淨」字に作る
 「之」字下、「慶Ⅱ」久「字有り」
 「敦Ⅰ」徐「一字無し」
 「自」字上、「道蔵」而「字有り」
 「陽Ⅰ・敦Ⅰ・道蔵」也「字無し」、「無窮」は「之」字に、「梅沢
 は」也「之」二字に作る

100 99 98 97 96 95 94 93 92 91 90 89 88 87 86 85 84 83 82 81 80 79 78
 「道蔵」者「一字無し」宋版・世徳・敦Ⅰ「者也」二字無し
 「陽Ⅰ」賈「字」に誤る
 「宋版・世徳・道蔵」謂「字無し」
 「武内・東大・東洋・東急」者「字無し」
 「敦Ⅰ」也「字無し」
 「道蔵」盈「字」に作る
 「梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ」武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ・天
 理「弊」字に作る
 「成」字下、「道蔵」守「字有り」
 「活Ⅰ・活Ⅱ」陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯
 Ⅱ「雜」字に誤る
 「敦Ⅰ」雜「字」に誤る
 「不」字下、「足利」又「不」字有り、但、左旁に見消ち
 「宋版・世徳」蔽「字」に作る
 「守弊」敦Ⅰ「弊守」に作る
 「宋版・世徳」蔽「字」に作る
 「成」字有り
 「宋版・世徳」蔽「字」に作る
 「慶Ⅰ・大東・武内」は「溢」字、「斯Ⅱ」は「清」字に作る
 「宋版・世徳」蔽「字」に作る
 「活Ⅰ・活Ⅱ」陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅
 沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・足利・武内・東大・東洋・東急・道蔵・天
 理「也」字有り
 「足利」奢泰「二字無し」
 「弘文」滿「字」に作る
 「活Ⅰ・活Ⅱ」陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅
 沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・足利・武内・東大・東洋・東急・道蔵・天
 理「者」字有り
 「道」字下、「條」字、「道蔵」は「長」字に作る
 「弘文・斯Ⅱ」梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・
 敦Ⅰ・天理「者」字有り
 「者」字下、「無窮」動「字有り」
 「慶Ⅱ」は「條」字、「道蔵」は「長」字に作る
 「道」字下、「活Ⅰ・活Ⅱ」陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・
 弘文・斯Ⅱ「者」字有り

至塵樞³

道人捐情去欲五内清淨至於塵樞也^{5 6 7 8 9 10 11}

守靜篤也¹²

守清淨行篤厚也^{13 14}

萬物並作^{15 16}

作生也萬物並生也¹⁷

吾以觀其復^{18 19}

言吾以觀見萬物无不皆返復其本人當念重本也^{20 21 22 23 24 25 26 27 28}

夫物芸々

芸々者花葉盛^{29 30 31}

各復歸其根³²

言萬物无不枯落各復反其根而更生也^{33 34 35 36}

歸根曰靜³⁷

靜謂根也根安靜柔弱謙卑処下故故不復死也^{38 39 40}

靜曰復命⁴¹

虛極二至(リ)テ

道一人ハ・情ヲ捐(テ)欲ヲ去(上)リ(リ)テ・五内清淨ニソ・

〔於〕虛極ニ至ル(也)

靜篤ヲ守(ル)(也)

清淨ヲ守(リ)・篤厚ヲ行フ(也)

萬物並ニ作(去)ル

作ハ・生(也)・萬物並ニ生ス(也)

吾以テ其ノ復ルヲ觀(ル)

言ハ吾以テ萬物ヲ觀(見)ルニ・皆其ノ本ニ返リ復ラ不

ト云コト无(シ)・人當ニ本ヲ重センコトヲ念フ「當シ」(也)

夫(平)レ物芸々トソ

芸々ハ「者」・花葉ノ盛ナルソ

各其ノ根ニ復(入)リ歸ス

言ハ萬物枯落(チ)テ・各其ノ根ニ復リ反(リ)テ・〔而〕更

ニ生(セ)不ト云コト无(シ)(也)

根ニ歸ルヲ靜ト曰(フ)

靜ト云ハ・根ヲ謂(フ)(也)・根ハ・安靜柔弱ニソ・謙卑

ニソ下ニ処(ル)。故ニ復(去)レ死(不)也

靜ヲ復(入)ル命ト曰(フ)

言⁴²安⁴³靜⁴⁴者⁴⁵是⁴⁶為⁴⁷復⁴⁸還⁴⁹性⁵⁰命⁵¹使⁵²不⁵³死⁵⁴

復命曰常

復⁴⁷命⁴⁸使⁴⁹不⁵⁰死⁵¹此⁵²是⁵³乃⁵⁴道⁵⁵之⁵⁶所⁵⁷常⁵⁸行⁵⁹也⁶⁰

知常曰明

能⁶¹知⁶²道⁶³之⁶⁴所⁶⁵常⁶⁶行⁶⁷則⁶⁸為⁶⁹明⁷⁰

不知常妄作凶

不⁷¹知⁷²道⁷³所⁷⁴常⁷⁵行⁷⁶妄⁷⁷作⁷⁸巧⁷⁹詐⁸⁰則⁸¹失⁸²神⁸³明⁸⁴故⁸⁵凶⁸⁶也⁸⁷

知常容

能⁸⁸知⁸⁹道⁹⁰之⁹¹所⁹²常⁹³行⁹⁴則⁹⁵去⁹⁶情⁹⁷忘⁹⁸欲⁹⁹無¹⁰⁰所¹⁰¹不¹⁰²包¹⁰³容¹⁰⁴也¹⁰⁵

容乃公

無¹⁰⁶所¹⁰⁷不¹⁰⁸包¹⁰⁹容¹¹⁰則¹¹¹公¹¹²政¹¹³無¹¹⁴私¹¹⁵衆¹¹⁶邪¹¹⁷者¹¹⁸莫¹¹⁹當¹²⁰也¹²¹

公乃王

公¹²²正¹²³無¹²⁴私¹²⁵則¹²⁶可¹²⁷為¹²⁸天¹²⁹下¹³⁰王¹³¹治¹³²身¹³³正¹³⁴則¹³⁵形¹³⁶一¹³⁷神¹³⁸明¹³⁹千¹⁴⁰萬¹⁴¹共¹⁴²

湊已躬也

言ハ安⁴²靜ナルハ「者」・是性⁴³命ニ復リ⁴⁴還リテ・死(レ)不⁴⁵
(ラ)使(ム)ルコトヲ為(ス)(也)

復(入)命ヲ常ト曰(フ)

復(入)命⁴⁷ヲ・死(レ)不⁴⁸ラ使(ム)ル⁴⁹ソ・此ハ是乃(チ)道ノ(之)

常ニ行フ所ナリ(也)

常ヲ知ルヲ明ト曰(フ)

能(ク)道ノ(之)常ニ行フ所ヲ知(ル)ヲ・(則)明ト為(ス)

常ヲ知(ラ)不⁵⁴ソ・妄リニ凶⁵⁵シイコトヲ作(去)(ス)

道ノ常ニ行フ所ヲ知(ラ)不⁵⁶ソ・妄リニ巧⁵⁷詐ヲ作(去)ソ・

(則)神明ヲ失フ。故ニ凶シ(也)

常ヲ知(レ)ハ容ナリ

能(ク)道ノ(之)常ニ行フ所ヲ知(レ)ハ・(則)情ヲ去(上)(リ)

欲ヲ忘レテ・包(ネ)容(レ)不¹⁰¹ト云所無(シ)(也)

容ナレハ乃(チ)公ナリ

包(ネ)容(レ)不¹⁰⁷ト云所無キハ・(則)公¹⁰⁸政ニシテ私无ク・衆

ノ邪ナル者・當ルコト莫(シ)(也)

公ナルハ乃(チ)王ナリ

公¹²²正ニ¹²³私無(キ)トキハ・(則)天¹²⁴下ノ王為(ル)可(シ)。身

ヲ治(ム)ルコト正(アル)トキハ・(則)形¹³⁶一¹³⁷ニ¹³⁸ソ・神明千

王乃天

能王德合神明乃为天通也^{86 87 88 89 90 91}

天乃道

德为天通則为天道合同也⁹²

道乃久

与道合同乃能长久也⁹³

没身不殆⁹⁴

能公能王通天合道四者純備道德引遠無殆無咎乃^{95 96 97 98 99 100}

与天地俱没不危殆也^{101 102 103 104}

萬。共ニ己カ躬ニ湊マル也

王ナレハ乃チ天ナリ

能ク王トシテ徳神明ニ合フトキハ、乃チ天与通ス也

天ナレハ乃チ道ナリ

徳天与通スルトキハ、則道与合同也

道ナレハ乃チ久シ

道与合同スルトキハ、乃チ能ク長クナリ也

身ヲ没ルマテニ殆カラ不^{アヤク}

能ク公能ク王ニシテ天ニ通シ道ニ合フ四ノ者純ハ

ラ備リテ、道德引遠ナルトキハ、殆モ無ク咎モ無ク

乃チ天地与俱ニ没シ、危殆ナラ不也

校異

- 1 「天理・筑波」「版」字に作る
- 2 「書陵・龍門・無窮・足利・斯Ⅱ・東急・六地・陽Ⅱ・敦Ⅰ」章題無し。「筑波・武内・東大・東洋」「根」字下「章」字有り、弘文・慶Ⅰ・大東」は「致虚極章第十六」、慶Ⅱ」は「至虚極章第十六」に作る
- 3 「道藏」「致」字に作る
- 4 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・天理」「也」字有り
- 5 「道人」宋版「世徳」「得道之人」四字に作る
- 6 「人」字下「敦Ⅰ」「能」字有り
- 7 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・慶Ⅱ・天理」「損」字に作る

- 8 「道藏」「藏」字に作る
- 9 「活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東洋・敦Ⅰ・道藏・天理」「静」に作る
- 10 「敦Ⅰ」「於」字無し
- 11 「敦Ⅰ」宋版「世徳」「也」字無し
- 12 「斯Ⅱ・梅沢・東急・陽Ⅱ・宋版・世徳・敦Ⅰ・道藏」「也」字無し
- 13 「清浄」活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・武内・東洋・東急・敦Ⅰ・道藏・天理」は「清静」慶Ⅱ」は「精静」に作る
- 14 「斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅱ・東急・宋版・世徳・敦Ⅰ・道藏」「也」字無し
- 15 「筑波」「煎」に作る

69 68 〔書陵・敦Ⅰ〕「也」字無し
 〔龍門・斯Ⅱ・慶Ⅰ・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・敦Ⅰ〕「无」字に
 作る
 70 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・梅
 沢・東急・敦Ⅰ・天理〕「所」字無し
 71 〔書陵・龍門・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大
 東・東急・敦Ⅰ〕「苞」字に作る
 72 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・龍門・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東
 大・東洋・東急・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵・天理〕「正」字に作る
 73 〔活Ⅰ・活Ⅱ・書陵・無窮・足利・弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大
 東・慶Ⅱ・東急・宋版・世徳・道蔵・天理〕「無」字に作る
 74 〔書陵・筑波〕「和」字に作る、但、〔書陵〕は左旁に見消ち「私」
 字を加筆
 75 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・無窮・足利・筑波・弘文・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大
 東・東急・宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵・天理〕「者」字なし
 76 〔宋版・世徳・敦Ⅰ・道蔵〕「也」字無し、〔慶Ⅰ・大東〕は「也
 矣」、〔東洋〕は「之也」一字に作る
 77 〔無窮・足利・弘文・斯Ⅱ〕は「政」字に、〔筑波〕は「王」に作
 る
 78 〔陽Ⅰ・龍門・筑波・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東
 洋・敦Ⅰ〕「无」字に作る
 79 〔筑波〕「和」に作る
 80 〔宋版・世徳一則〕字無し
 81 〔可〕字下、〔宋版・世徳・道蔵〕「以」字有り
 82 〔一〕字下、〔道蔵〕「而靜」二字有り
 83 〔足利〕「徂」字に作る
 84 〔無窮・弘文・斯Ⅱ・足利〕「身」字に作る
 85 〔敦Ⅰ・道蔵〕「也」字無し、〔梅沢〕は「之也」、〔東洋〕は「者

也」二字に作る
 87 86 〔徳〕字上、〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・無窮・足利・筑波・
 弘文・斯Ⅱ・梅沢・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・
 道蔵・天理一則〕字有り
 88 〔道蔵〕「治」字に作る
 89 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・天理〕「乃」字無し
 90 〔宋版・世徳〕「子」に作る
 91 〔敦Ⅰ・宋版・世徳〕「也」字無し、〔道蔵〕「矣」字に作る
 92 〔敦Ⅰ〕「也」字無し
 93 〔敦Ⅰ・宋版・世徳・道蔵〕「也」字無し、〔梅沢〕は「也之」、
 〔東洋〕は「之也」二字に作る
 94 〔無窮・筑波・梅沢・慶Ⅰ・大東・陽Ⅱ・天理〕「歿」字に作る
 〔宋版・世徳〕「天」に作る
 95 〔諸本〕「弘」に作る
 96 〔陽Ⅰ・龍門・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・敦
 Ⅰ〕は「无」字に、〔筑波〕は「選」に作る
 97 〔活Ⅰ・活Ⅱ・陽Ⅰ・書陵・龍門・足利・筑波・弘文・梅沢・斯
 Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・東急・敦Ⅰ・宋版・世
 徳・道蔵・天理〕は「歿」字に、〔無窮〕は「歿」字に作る
 98 〔陽Ⅰ・龍門・斯Ⅱ・慶Ⅰ・大東・慶Ⅱ・武内・東大・東洋・敦
 Ⅰ〕「无」字に作る
 99 〔道蔵〕「同」字に作る
 100 〔無窮・慶Ⅰ・大東・天理〕「歿」字に作る
 101 〔不〕字上、〔無窮〕は「無」字、〔道蔵〕は「終」字が有る
 102 〔敦Ⅰ〕「也」字無し
 103 〔敦Ⅰ〕「也」字無し
 104 〔敦Ⅰ〕「也」字無し